

**滝川市健康管理システム導入等業務
機能要件確認書**

作成日 令和8年1月22日

作成者 滝川市健康こども未来部健康づくり課

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

*本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>(1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に基づいています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能	
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.1.	0190001	住民基本台帳システムに、住民基本台帳情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 連携頻度はリアル・日次とする ※3 支援指図対象者情報も連携できること。 「住民情報システムと連携し、宛名情報の管理ができる。 「住民登録の住民コードによる連携が可能である。」	◎	◎	◎	・住民基本台帳情報との連携要件を定めている。 ・自治体の運用やペーパーレスシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準化として必要と想定される要件を※3で追加している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.1.	0190569	住民基本台帳システムに、住民基本台帳情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 連携頻度はリアル・日次とする ※3 支援指図対象者情報も連携できること。	◎	×	×	・住民基本台帳情報との連携要件を定めている。 ・自治体の運用やペーパーレスシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準化として必要と想定される要件を※3で追加している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所、「業務フロー」1. 予防接種対象者の登録・通知 ファイル 13-ページ1-；接種対象者情報の登録（出生・輸入）1. 健康管理システム導入上記にて基連携は、リアル・日次が想定されていることを受けて機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改正> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへ、予防接種対象者情報を提供する際に、健健康管理システム内で、予防接種対象者番号の採番が必要であることから、新規追加した。		
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190570	住民基本台帳の異動情報を元に、予防接種対象者番号の採番ができるること。 ※1 出生・転入時等を発行機関に新規採番できること ※2 番号体系は以下とする 市区町村等コード（6桁）+対象者番号（15桁）の合計21桁	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所、「業務フロー」1. 予防接種対象者の登録・通知 ファイル 13-ページ1-；接種対象者情報の登録（出生・輸入）1. 健康管理システム導入上記にて基連携は、リアル・日次が想定されていることを受けて機能である。	<<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改正>> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへ、予防接種対象者情報を提供する際に、健健康管理システム内で、予防接種対象者番号の採番が必要であることから、新規追加した。		
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.3.	0190002	住民基本台帳システムに、住民基本台帳情報を照会する。 ※1 個人番号も連携すること（標準化対象事業が含まれ、連携による保持が必要な場合） データベースに個人番号、統合宛名番号を追加し、基幹システムと連携できる。	◎	◎	◎	個人番号はマイナンバーである。以下同様。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.4.	0190003	住民基本台帳の異動情報を元に、異動内容を確認できること。	◎	◎	◎				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.5.	0190004	文字要件については、「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕書」の規定に準ずること。	◎	◎	◎				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.6.	0190005	個人住民税システムに、個人住民税情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 連携・参照する税額を事業ごとに設定できること	◎	◎	◎	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.7.	0190006	個人住民税システムに、個人住民税情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	◎	◎				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.7.	0190442	個人住民税システムに、個人住民税情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	○	○				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.8.	0190544	個人住民税情報をから非課税世帯を判定できること。	○	○	○				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.9.	0190007	国民健康保険システムに、国民健康保険情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	◎	×	×	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.9.	0190008	国民健康保険システムに、国民健康保険情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	×	×				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.9.	0190443	国民健康保険システムに、国民健康保険情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	×	×				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.10.	0190009	後期高齢者医療システムに、後期高齢者医療保険情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	◎	×	×	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。 ・機能ID0190571を実装する場合は、標準オプション機能とする。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.11.	0190010	後期高齢者医療システムに、後期高齢者医療保険情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	×	×	・機能ID0190571を実装する場合は、当要件は標準オプション機能とする。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.11.	0190444	後期高齢者医療システムに、後期高齢者医療保険情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	×	×				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190571	後期高齢者医療広域連合電算処理システムより提供される後期高齢者医療の被保険者情報ファイルを取り込み、被保険者情報（後期高齢者医療）を健康管理システムで利用できること。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること	○	×	×	・当要件は後期高齢者医療システムと、ファイル受け渡しの調整を行わせている前提で利用できる機能要件である。 ・後期高齢者医療広域連合に取り扱われるファイルを取り込む機能を想定している。 ・連携項目は「後期高齢者医療広域連合電算処理システム外部インターフェース用様書」の被保険者情報ファイルに準拠することとする。 ・後期高齢者医療の被保険者情報を広域連合を正本とし、他システム連携はオプション機能と整理されていることから、追加を行っている。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190572	後期高齢者医療広域連合電算処理システムより提供される後期高齢者医療の被保険者情報ファイルを取り込み、被保険者情報（後期高齢者医療）を健康管理システムで利用できること。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	○	×	×				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.12.	0190011	生活保護システムに、生活保護情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	◎	◎	◎	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.13.	0190012	生活保護システムに、生活保護情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	◎	◎				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.13.	0190445	生活保護システムに、生活保護情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	○	○				
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.14.	0190013	介護保険システムに、介護保険情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	○	○	×	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		対象機能	
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1.15.	0190014	介護保険システムに、介護保険情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアル・日次・月次とする	○	○	×			対象機能	

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190446	障害者福祉システムに、身体障害者手帳情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること ※2 要動内容をE U C機能等により確認できること	○	x	x	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機別連携仕様」として定めている。		対象機能
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190447	障害者福祉システムに、身体障害者手帳情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアル・日次・月次とする	○	x	x			対象機能
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190574	以下情報の区分を管理(登録・修正・削除・照会)できること。 ・生活保護区分 ・非課税区分 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予システム連携情報]参照	◎	x	x	・生活保護受給世帯や、非課税世帯により、減免であることを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 医療機関窓口において、対象者が既に登録されている場合、また自己負担額の記録管理／請求支払システムに、当該情報を連携する必要があることから、新規追加した。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190575	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・生活保護区分 ・非課税区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・予防接種対象者情報をとして、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。		
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190576	以下情報の区分を管理(登録・修正・削除・照会)できること。 ・中国残留邦人区分 ・障がい者区分 ・その他免除区分 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予システィム連携情報]参照	○	x	x	・中国残留邦人であることや、障がいを有すること、その他条件により減免であることを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190577	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・中国残留邦人区分 ・障がい者区分 ・その他免除区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	○	x	x	・予防接種対象者情報をとして、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190578	以下情報の区分を管理(登録・修正・削除・照会)できること。 ・高齢者定期接種対象区分 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予システィム連携情報]参照	◎	x	x	・B群疾患において、60~64歳で障がいを有することにより定期接種対象となることを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、勤務条件や接種タスクに必要な情報であるため、新規追加した。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190579	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・高齢者定期接種対象区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・予防接種対象者情報をとして、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190580	以下情報の区分を管理(登録・修正・削除・照会)できること。 ・長期療養区分 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予システィム連携情報]参照	◎	x	x	・長期療養により、定期接種対象期間を過ぎた場合でも定期接種として取り扱うことを表す区分があり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190581	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・長期療養区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・予防接種対象者情報をとして、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190582	以下情報の区分を管理(登録・修正・削除・照会)できること。 ・その他区分 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予システィム連携情報]参照	◎	x	x	・その他の理由により、定期接種として取り扱うことを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー(3.0版の参考資料)の応用箇所「[業務プロセス] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2: 接種対象者情報の更新 1. 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を専有する機能	
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)				
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190583	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・その他区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-1. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各識別区分、各対象者区分が想定されていることを受けたの機能である。			
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190638	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・海外接種区分 【管理項目】 〔別紙2-2〕管理項目_10.【予防接種】対象者管理」【予システム連携情報】参照	◎	x	x	・海外での予防接種履歴を持つ対象者を表示区分であり、市町村において対象者情報を管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-2. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けたの機能である。			
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190639	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・海外接種区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-2. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各識別区分、各対象者区分が想定されていることを受けたの機能である。			
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190640	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・保護者氏名 【管理項目】 〔別紙2-2〕管理項目_10.【予防接種】対象者管理」【予システム連携情報】参照	◎	x	x	・接種対象者の保護者氏名、市町村において情報を確認のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-2. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けたの機能である。			
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190641	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・保護者氏名 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-2. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各識別区分、各対象者区分が想定されていることを受けたの機能である。			
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190584	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・不開示フラグ ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・健診開示制限を目的であり、支援対象者、及び要配慮者に該当する情報をである。 ・支援対象者や、要配慮者の管理機能が定義済み。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-2. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に「不開示フラグ」が想定されていることを受けたの機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、不開示情報の管理が必要であるため、新規追加した。		
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190585	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・通知対象区分 ※1 「IFID_SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON)」「IFID_FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV)」に準拠すること	◎	x	x	・勤貢通知が実施されないようにする目的である。 ・通知対象外情報の管理機能は定義済み。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] A. 予防接種対象者の登録・通知」ファイル「A-1」ページA-2. 接種対象者情報の更新 1: 健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各対象者区分が想定されていることを受けたの機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、勤貢通知が実施されないようにするために、勤貢通知が実施される場合に、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、PMH-ID発行通知を差し替えるため、新規追加した。		
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190623	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・生年月日不詳フラグ ※1 「IFID_001 接種対象者情報の送信」に準拠すること	◎	x	x	・PMH-ID発行時の奕合エラーを回避するためのラグである。 ・住基情報に含まれる「生年月日不詳フラグ」のことである。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、PMH-ID発行通知を差し替えるため、新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R.1の3.1版で定める予定。		
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190586	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・母子保健情報 ※1 以下に準拠すること IFID_SIF_H07_001 1歳から月別健診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_001 1歳から月別健診結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_002 3~4か月別健診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_002 3~4か月別健診結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_003 3歳児健診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_003 3歳児健診結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_004 新生児健診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_004 新生児健診結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_005 新生児月別検査結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_005 新生児月別検査結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_010 妊娠届出情報の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_010 妊娠届出情報の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_011 妊婦健診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_011 妊婦健診結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_012 妊婦精健結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_012 妊婦精健結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_013 乳幼児精健診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_013 乳幼児精健診結果の連携 (CSV)	○	x	x	・母子保健情報を予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに連携する機能である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] H. その他」ファイル27-1 H-7: 母子保健・健診情報の連携 1: 母子保健・健診情報の連携 上記にて健康管理システムから母子保健情報の連携が想定されていることを受けたの機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから予防接種DBに匿名情報として提供し、研究分野に活かすための情報連携として、新規追加した。		
I. 健康管理共通	I. 1. 他システム連携	-	0190587	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・自治体検診情報 ※1 以下に準拠すること IFID_SIF_H07_004 子宮頸がん一次検診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_004 子宮頸がん一次検診結果の連携 (CSV) IFID_SIF_H07_005 子宮頸がん二次検診結果の連携 (JSON) IFID_FIF_H07_005 子宮頸がん二次検診結果の連携 (CSV)	○	x	x	・自治体検診情報を予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに連携する機能である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー-1] H. その他」ファイル27-1 H-7: 母子保健・健診情報の連携 1: 母子保健・健診情報の連携 上記にて健康管理システムから健診情報の連携が想定されていることを受けたの機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから予防接種DBに匿名情報として提供し、研究分野に活かすための情報連携として、新規追加した。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携		0190624	公金受取口座（公的給付支給口座）の利用の意思の有無（公金口座区分）を管理できること。 公金受取口座の利用の意思がある場合には、申請又は給付の都度、情報提供ネットワークシステムを通じて公金受取口座登録システムから公金受取口座情報を自動で取得し、給付金等の振込先口座として利用できること。	○	○	×		妊娠のための支援給付における口座振込に利用する目的で要件を追加。 ※標準仕様書間の横並び調整方針に準拠	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携		0190625	取得した公金受取口座情報を、他システム（公金受取口座の対象事務を処理するシステムを除く。）に提供できること	×	×	×		妊娠のための支援給付における口座振込に利用する目的で要件を追加。 ※標準仕様書間の横並び調整方針に準拠	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190449	母子保健（養育医療以外）サブユニットに予防接種情報を提供する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする ※2 住登外者の予防接種情報も連携できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」 【各種予防接種の接種実績】参照	○	×	×	×	母子保健（養育医療以外）をサブユニットとした場合の要件である。 「健康管理システム」⇒「母子保健（養育医療以外）」への予防接種情報の連携を想定している。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190450	健康管理システムに予防接種情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする ※2 住登外者の予防接種情報も連携できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_03.【成人保健】検診情報管】 【各種予防接種の接種実績】参照	×	○	×		母子保健（養育医療以外）をサブユニットとした場合の要件である。 「健康管理システム」⇒「母子保健（養育医療以外）」への予防接種情報の連携を想定している。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190556	生活保護システム及び生活保護版レセプト管理システムに健康診査情報を提供する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする ※2 住登外者の健康診査情報も連携できること。 ※3 生活保護受給者の健康診査情報を抽出して連携できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_03.【成人保健】検診情報管】 【健康診査】参照	◎	×	×		機能ID0190192で暫管理する情報を提供する形態を想定している。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190588	障害者福祉システムに精神障害者保健福祉手帳情報を提供する。	○	×	×		精神障害者保健福祉手帳を健康管理システムとして利用する場合の要件である。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190589	障害者福祉システムに自立支援医療（精神通院医療）情報を提供する。	○	×	×		自立支援医療（精神通院医療）を健康管理システムとして利用する場合の要件である。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190590	障害者福祉システムに自立支援医療（育成医療）情報を提供する。	○	×	×		自立支援医療（育成医療）を健康管理システムとして利用する場合の要件である。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190599	API連携により、PMHに予防接種対象者情報を提供する。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_V006-E02_予防接種対象者情報登録API【自治体】」 ※2 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※3 差分とすること	○	×	×	【第2.0版】 検討会での議論の結果、当機能を追加 ・本要件はデジタル庁における「医療費助成・予防接種・母子保健等にかかる情報連携の実証事業」の実証結果を踏まえて、引き続き検討を進めること。 ・差分連携は令和6年度にデジタル庁が開始する予定であるが、API設計書が変更となる可能性がある点に留意すること。 ・PMH実証事業参画自治体向けの機能である	健康管理システムとPMHの連携については、経済省が規定する「地方公共団体による情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、各自治体の情報セキュリティポリシー、ネットワーク構成等を踏まえ各自治体が個別判断すること。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190560	API連携により、予防接種記録情報を照会する。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_V006-E06_予防接種結果情報登録API【自治体】」 ※2 全件取得、または期間指定による差分取得ができること	○	×	×	【第2.0版】 検討会での議論の結果、当機能を追加 ・本要件はデジタル庁における「医療費助成・予防接種・母子保健等にかかる情報連携の実証事業」の実証結果を踏まえて、引き続き検討を進めること。 ・PMH実証事業参画自治体向けの機能である	健康管理システムとPMHの連携については、経済省が規定する「地方公共団体による情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、各自治体の情報セキュリティポリシー、ネットワーク構成等を踏まえ各自治体が個別判断すること。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190591	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに予防接種対象者情報を提供する。 ※1 「[FID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (JSON) 」「[FID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携 (CSV) 」に準拠すること ※2 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※3 差分とすること	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所「[業務フロー] H_その他」ファイルH-3: 接種記録の連携・照営・閲覧1: 接種記録の連携・照営・閲覧上記等にて予予、請求システムから健管システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。 I: 健康管理システム導入記録等にて予予、請求システムから健管システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> PMHから予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへの移管に伴い要件を新規追加した。	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190592	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに予防接種対象者情報を提供した結果を受領し確認できること。 ※1 「[FID 003 接種対象者登録・更新エラー情報連携」に準拠すること	○	×	×		<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定>	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190593	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、期間を指定して予防接種記録情報を照会する。 ※1 「[FID SIF_H03_001 接種記録の取得 (JSON) 」「[FID FIF_H03_001 接種記録の取得 (CSV) 」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所「[業務フロー] H_その他」ファイルH-3: 接種記録の連携・照営・閲覧1: 接種記録の連携・照営・閲覧上記等にて予予、請求システムから健管システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。 I: 健康管理システム導入記録等にて予予、請求システムから健管システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定>	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190594	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、対象者を指定して予防接種記録情報を照会する。 ※1 JSONの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_M016-E01_妊娠健診対象者情報登録API【自治体】」 ※2 CSVの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「[PMH] 0703.基本設計書_ファイル設計書_乳幼児健診対象者情報登録用ファイル」 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_M016-E01_妊娠健診対象者情報登録API【自治体】/CSV」 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_M026-E01_乳幼児健診対象者情報登録API【自治体】/CSV」 ※3 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※4 差分連携とすること	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所「[業務フロー] H_その他」ファイルH-3: 接種記録の連携・照営・閲覧1: 接種記録の連携・照営・閲覧上記等にて予予、請求システムから健管システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定>	
I. 健康管理共通	I.1. 他システム連携	-	0190595	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、PMHに母子保健対象者情報を提供する。 ※1 JSONの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_M016-E02_妊娠健診対象者情報登録API【自治体】」 ※2 CSVの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「[PMH] 0703.基本設計書_ファイル設計書_乳幼児健診対象者情報登録用ファイル」 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_M016-E01_妊娠健診対象者情報登録API【自治体】/CSV」 「[PMH] 1800.基本設計書-API設計書_M026-E01_乳幼児健診対象者情報登録API【自治体】/CSV」 ※3 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※4 差分連携とすること	◎	◎	×		PMHとの連携に伴い機能を追加 ※令和6年度以降の先行実施の推進・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえ、設定する。	

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190596	API連携により、PMHから母子保健対象者情報登録結果を照会すること。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること。「[PMH] 1800_基本設計書_API設計書_M01G-E04_妊娠健診対象者情報登録結果取得API（自治体）」「[PMH] 1800_基本設計書_API設計書_M02G-E04_乳幼児健診対象者情報登録結果取得API（自治体）」 ※2 処理適否を指定して取得できること	○	○	×		PMHとの連携に伴い機能を追加	
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190597	API連携により、PMHから母子保健健診結果情報を照会すること。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること。「[PMH] 1800_基本設計書_API設計書_M01G-E06_妊娠健診結果情報登録API（自治体）」「[PMH] 1800_基本設計書_API設計書_M02G-E06_乳幼児健診結果情報登録API（自治体）」 ※2 全件取得、または期間指定による差分取得ができること	○	○	×		PMHとの連携に伴い機能を追加	
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190598	PMHから取得した母子保健健診結果情報（JSONまたはCSVデータ）を一括して取り込むことができるること。 ※1 JSONの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること。「[PMH] 1800_基本設計書_API設計書_M01G-E06_妊娠健診結果情報登録API（自治体）」「[PMH] 1800_基本設計書_API設計書_M02G-E06_乳幼児健診結果情報登録API（自治体）」 ※2 CSVの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること。「[PMH] 0703_基本設計書_ファイル設計書_妊娠健診結果情報ファイル」「[PMH] 0703_基本設計書_ファイル設計書_乳幼児健診結果情報ファイル」	◎	◎	×		PMHとの連携に伴い機能を追加 ※令和6年度以降の先行実施の進捗・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえ、設定する。	
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	-	0190546	基本データリストに定めている範囲で、独自施策システムに情報を提供できること。	◎	◎	◎	独自施策システムとの連携における具体的な仕様は、データ要件・連携要件標準仕様書の独自施策システム等連携仕様の規定に準ずる。		
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1. 25.	0190024	他システムとの連携用データの取込みや作成・送信は、あらかじめ指定したスキーマに基づき、自動実行ができること。 また、自動実行した結果（正常異常、処理開始終了時刻、処理件数等）を確認できること。 住民異動履歴、資格異動処理、バッケージ外の各種パッチ処理を「[PMH]の標準機能「タスクスケジューラ」を使用しないで、システム内でスケジュールとして登録、実行できる。各種パッチ処理の実行時期として、日次、週次、月次、隨時が選択できる。 各種パッチ処理は正しく完了したのか、処理結果が画面表示できる。 各処理が正常終了したのか、処理結果が画面表示できる。 各パッチ処理結果はシステムログイン直後の総合メニューに表示される。 結果を確認した処理に対して、消込みが行えること。 一定期間以上、結果が確認されていない処理に対して、アラートが表示される。 初期画面に本日の事業予定・自動運行パッチ処理状況・カレンダーが表示できる。 登録された処理結果をシステム内で確認できること。また、必要に応じて再実行できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.1. 他システム連携	1.1. 26.	0190025	他システムとの連携用データの取込みや作成・送信時にエラーが発生した場合、エラー内容を確認できること。 ※1 エラー対応後、取込みや作成・送信の再処理ができること。 各種パッチ処理結果をシステム内で確認できること。また、必要に応じて再実行できる。 各種パッチ処理は必要に応じて再実行できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 1.	0190026	コードマスターを管理（登録、修正、削除、照会）できること。	◎	◎	◎	・健康管理システムとの共通として管理するマスターを記載している。 ・コードマスターとして管理するコード項目は、各事業の機能・帳票要件で定義している管理項目の範囲を想定しており、コード項目及び其の属性等の内容はコードマスターの帳票要件標準仕様書における基本データリストにて定義される。		
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 2.	0190029	医療機関情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 事業ごとに医療機関の管理ができること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」[医療機関情報]参照 指定医療機関マスタ管理ができる。 上記項目について、指定医療機関の指定期間が設定でき、申請日が期間の範囲外の時は該当機関、該当医師の入力ができない。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 2.	0190030	医療機関マスターを取り込み、登録ができること。 指定医療機関マスター管理ができる。 上記項目について、指定医療機関の指定期間が設定でき、申請日が期間の範囲外の時は該当機関、該当医師の入力ができない。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 3.	0190031	医療機関情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 医療機関情報から医療機関向けの宛名が作成できること	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 4.	0190032	医療機関情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 社会保険診療報酬支払基が定める医療機関コードと自治体独自の医療機関コードの2種類を管理できること	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 5.	0190033	医療機関情報を一覧で確認できること。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能		0190626	金融機関マスターデータ（金融機関コード、金融機関漢字名称、金融機関名カナ、店舗番号、店舗漢字名称、店舗名カナ等）を登録、修正、削除、照会できること。 金融機関マスターデータを管理する権限を特定ユーザーに限定できること。 金融機関マスターデータを一覧で確認できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」の以下参照 [金融機関情報] [金融機関店舗情報]	○	○	×		妊娠のための支援給付における口座振込間違の要件を追加 ※標準仕様書間の横並び調整方針に準拠	
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能		0190627	全国銀行協会フォーマットの様式に基く、金融機関マスターデータの登録更新が可能である。 金融機関マスターデータ（金融機関が有効開始日、金融機関が有効終了日、指定金融区分コード、電子納付応有無コード、店舗有効開始日、店舗有効終了日、本店支店区分、手形交換番号、店舗開設番号、店舗住所、店舗電話番号）を登録、修正、削除、照会できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」の以下参照 [金融機関情報] [金融機関店舗情報]	○	○	×		妊娠のための支援給付における口座振込間違の要件を追加 ※標準仕様書間の横並び調整方針に準拠	
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 6.	0190034	集団健（検）診等の会場を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」[会場情報]参照	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 6.	0190035	集団健（検）診等の会場を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 会場を行政区と組づけて管理できること	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 7.	0190036	会場を一覧で確認できること。	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管理機能	1.2. 8.	0190037	通知書等の出力において、帳票単位で電子印を管理できること。 ※1 印影は地方自治体の要求するサイズで管理できること ※2 賴務代理者の印も管理できること	◎	◎	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.9.	0190039	通知書等の出力において、印字する市區町村長名を管理でき、変更になる場合も対応できること。 ※1 通知書等に印字する場合は、設定された公印の種類に対応した名称を管理できること。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	-	0190451	通知書等の出力において、印字する保健所長名等を管理でき、変更になる場合も対応できること。 ※1 通知書等に印字する場合は、設定された公印の種類に対応した名称を管理できること。	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	-	0190462	通知書等に印字する問合せ先・不服申し立て先を管理できること。	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.10.	0190041	通知書等の出力において、職務代理者を管理できること。 ※1 職務代理者は反映させる通知書等を帳票単位に指定できること ※2 公印で設定した帳票に対して、職務代理者の一括反映有無を設定できること ※3 公印のみ印刷してある台紙に市區町村長名を印字する方式の場合、印刷する公印は変更せず、市區町村長名部分のみを職務代理者に変更できること。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.11.	0190042	通知書等の出力において、職務代理者を管理できること。 ※1 職務代理者の適用期間設定ができること	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.12.	0190043	システム操作者以外に、事業従事者（担当者）情報が管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「事業従事者（担当者）情報」参照 ※1 保健推進委員、民生委員等の委員についても管理できること	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.13.	0190044	事業従事者（担当者）情報が一覧で確認できること。	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.14.	0190045	地区の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[地区管理]参照 ※1 地区は住民登録の住所と紐づけができること ※2 事業や目的別に地区を抽出できること（行政区や学校区等） ※3 支所地区・保健区・行政区など、複数種類の地区を管理できること	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.15.	0190046	地区別に事業従事者（地区担当者）の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[地区管理]参照 ※1 地区毎に複数の地区担当者を管理できること。 ※2 地区毎の委員についても管理できること。 世帯単位で地区担当保健師、保健推進委員の振付処理は、仕基運動による自動振付処理、手操作振付処理ができる。 担当保健師、保健推進委員の自動振付処理は、マスクより世帯情報へ振付ができる。 振付条件については、住所コード、校区などパラメータで切替、設定できる。	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.16.	0190047	検査項目において基準範囲（下限、上限）の管理ができること。 ※1 検査項目ごとに、年齢や性別ごとに基準値が設定できること ※2 基準値が設定されている検査項目を参照画面で照会した際、基準値超過、基準値未満の確認ができること ※3 過去の検査結果に対する判定は、基準値が変更された場合、過去時点の基準範囲で判定されてしまう書きされないこと 各検査項目について、基準値を年齢、性別毎に8段階で設定できる。 各検査項目の基準値をユーザーにて随時変更できる。 各検査項目について、基準値に基づいて自動判定し、判定別に色を変えて表示する。 詳細照会画面にて、各検査項目について、基準値に基づいて自動判定し、判定別に色を変えて表示できる。	○	○	×			対象機能
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.17.	0190048	年間の事業予定（集団健（検）診等のイベント予定）を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 ※1 以下に関する事業の情報を管理できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「事業予定」参照	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.18.	0190049	年間の事業予定（集団健（検）診等のイベント予定）を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 ※1 従事者（担当者）の登録時、同一時間に重複していた場合、注意喚起（アラート）ができること	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.19.	0190050	年間の事業予定は一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.19.	0190051	年間の事業予定は一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 従事者（担当者）ごとに確認ができること。	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.20.	0190052	事業の情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 ※1 同じ機能で成人保健・母子保健における市區町村拡張事業の追加、予防接種における住民登録や風しん抗体検査の追加ができること ※2 同じ業務でも複数の事業を実施している場合には、複数の事業が管理できること（例：栄養教室・禁煙教室・歯科教室） ※3 対象となる年齢および性別を管理者が選択できること ※4 対象となる年齢を登録するときに年齢範囲を設定できること ※5 対象となる年齢範囲を任意に設定できること ※6 同じ機能で追加した事業は、該当する分野（成人保健・母子保健・予防接種）の中において、既に登録されている事業と同様の取り扱いができるること。 入力項目に初期設定項目の設定ができる。 予約申し込みを実施する事業について、対象者条件の設定ができること。 対象者条件としては、性別・対象年齢範囲・対象年齢（例：40歳、45歳、50歳や偶数・奇数）・過去の受診歴とする。 予防接種法に従った設定（接種回数・開始年齢・接種間隔）ができる。 接種間隔の設定は、「月」「または「日」での設定ができる。 追加される予防接種も随時追加登録ができる。 検診項目・問診項目とも事業報告に必要となる項目は標準管理項目としてシステムで管理できる。 検診項目・問診項目とも、実施している検査項目を追加管理できる。	◎	◎	×	・健康管理は、地域特性により実施すべき事業に差がある分野となる地域住民の健康を守るために、地方自治体の創意工夫により実施している事業がシステムで管理できないという機能低下を防ぐため、当該要素を設けています。 これら機能IDの「事業」とは、成人保健では各がん検診や教育・訪問・指導等、母子保健では各健診や母子保健指導等を指す。 ・「予防接種管理番号」とは、予診情報・予防接種記録情報／予防接種システム・予防接種の種別や回数を判別する番号である。連携に必要となるため、番号を管理する要素を設けています。		
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.20.	0190599	機能ID0190052に加えて、以下ができること。 ※1 予防接種においては、予防接種管理番号を管理できること	◎	×	×		<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、「予防接種管理番号」で予防接種の種別や回数を管理する。当番号を健康管理システムでも管理する要件を追加した。	
1. 健康管理共通	1.2.マスター管 理機能	1.2.21.	0190053	事業を一覧で確認できること。	◎	◎	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管 理機能	1. 2. 22.	0190054	<p>市区町村拡張運用における以下の対応ができること。</p> <p>※1 指針に示された事業の対象年齢の拡張</p> <p>※2 対象年齢の基準日は任意に設定できること</p> <p>※3 指針に示された事業の節目年齢の変更</p> <p>※4 指針に示された事業の節目年齢の追加</p> <p>※5 地域別拡張事業の事業項目の追加</p> <p>追加した事業項目について他の項目と同様に取り扱われること</p> <p>※6 妊婦健診の新規助成（健診回数上乗せ）</p> <p>※7 対象となる受診歴の間隔を任意に設定できること</p> <p>検診項目、問診項目とも事業報告に必要となる項目は標準管理項目としてシステムで管理できる。</p> <p>検診項目、問診項目とも、実施している検査項目を追加管理できる。</p> <p>プロフィール（既往歴、家族歴、職業歴、血液型、死因等）の情報を管理できる。</p> <p>システムで管理している項目（検査項目等）をユーザーにて随时追加・変更できる。</p> <p>システムで管理している名称（例：病院名、診断名等）をユーザーにて随时追加・変更できる。</p> <p>生活のリズム（ミルク（食事）」「睡眠」「遊び」などの情報を時間軸に管理できる。</p>	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管 理機能	1. 2. 23.	0190055	マスタ管理情報は、適用開始日、適用終了日による管理ができること。	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.2. マスタ管 理機能	1. 2. 24.	0190056	機能・機能要件及び機能詳細要件に記載している「パラメータ」は、利用者が変更できること。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 1.	0190057	<p>住民登録情報（対象者および世帯員）を確認できること。</p> <p>※1 データの参照、データの取り込みは問わず、健康管理システム（「サブユニット含む」）で確認できればよい</p> <p>※2 支援措置対象者情報を連携される場合は、支援措置対象者として識別できること</p> <p>総合照会画面にて、該当者の情報を画面に表示されているとき、同一画面上に同一世帯員の名前を画面表示できる。</p> <p>総合照会画面にて、同一世帯員の名前を押すことで該当者の情報を画面表示できる。</p> <p>総合照会画面にて、資格情報の履歴情報を画面表示できる。</p> <p>総合照会画面にて、受診状況表登録時、同一世帯の世帯員についても同時に受診状況を画面表示できる。</p> <p>DV、虐待などの対象者に対するフラグ管理ができる。</p>	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 2.	0190058	<p>住民登録情報（対象者および世帯員）を確認できること。</p> <p>※1 世帯情報は一覧で表示できること</p> <p>※2 世帯情報は、現住民と消滅者を区別して表示できること</p> <p>総合照会画面にて、住民情報の統柄を基に、簡易的な家系図を画面表示できる。</p> <p>総合照会画面にて、家系図上に個人ごとの年齢、既往歴を画面表示できる。</p>	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 3.	0190059	住登外者を管理（登録・修正・削除・照会）できること。	◎	◎	◎			
<p>【管理項目】</p> <p>「(別紙2-2) 管理項目_管理項目_01.【共通】」「住登外者情報」参照</p> <p>住登外者登録を行なうケースがあるため、宛名情報を追加・修正を手入力できる。</p>										
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 22.	0190060	<p>住登外者宛名番号登録・管理機能</p> <p>住登外者宛名番号の登録・管理に関して、以下の処理ができること。</p> <p>・住登外者宛名番号管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準規約」に規定する住登外者宛名番号管理機能をいう。）に対して対象者を登録する場合に、登録情報を登録する。</p> <p>・住登外者宛名番号の登録に対して連携できること。照会結果に対象者が含まれる場合は、該当する住登外者宛名番号登録機能により受領した照会結果に対象者が含まれる場合は、該当する住登外者宛名番号登録機能に対して連携できること。照会結果に対象者が含まれない場合は、該当する住登外者宛名番号登録機能に対して住登外者宛名番号の登録ができない。</p> <p>・登録 更新した住登外者の宛名情報を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。</p> <p>住登外者の新規登録時には、システム宛名番号、世帯番号を自動付番できる。</p>	◎	◎	◎	住登外者宛名番号管理機能のうち付番機能を健康管理システムに個別に実装する場合、以下のとおりとする。		
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 23.	0190061	住の住所については住民登録システムから取得すること。	◎	◎	◎	・健診システムと連携する場合、住登外者宛名番号登録機能のうち付番機能については提供事業者の責任において対応することとし、必ずしもデータ連携機能の要件に定めるところより、データ連携機能を実装する必要はない。		
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 4.	0190062	管理している住登外者について、住登者と同様に各業務の情報を紐づけて管理できること。	◎	◎	◎	・他の利用権限登録機能に対して連携する情報を他の基幹業務システムと連携することが想定されることから、健康管理システムなど他の基幹業務システム間において、別々に同一の住登外者宛名番号を付番することを原則とする。		
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 5.	0190063	住登外者の個人番号を管理（登録・修正・削除・照会）できること。	◎	◎	◎	・他の判断基準などを用いて同一の個人情報を識別する。		
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 6.	0190064	<p>支援者指図対象者を照会でき、気づける仕組みとすること。</p> <p>※1 所属（課や係等の単位）や職員（複数指定可）により利用権限設定できること</p> <p>DV、虐待などの対象者に対してフラグ管理ができる。</p> <p>職員間での対象個人に対する、注意喚起・共有のため、システム画面上に色別の付箋を貼り付けることができる。</p> <p>付箋の色は青なら色と白なら意の色々を選択でき、色毎に意味を持たせた運用を可能とする。</p> <p>付箋は「対応完了」として消去が行える。</p> <p>照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に要注意情報が登録されている場合についても注意喚起が表示される。</p> <p>世帯員要注意情報の注意喚起から詳細内容の確認画面へ遷移することができる。</p> <p>DV、虐待などの対象者については個人の照会時に住所が自動でマスクされ、住所変更を止めできる。</p> <p>任意の条件を設定し、条件に該当する場合は注意喚起を表示できることができる。</p> <p>注意喚起の文言は来応者の目に触れる可能性のある窓口業務を想定し、任意の内容で表示できることができる。</p>	◎	◎	◎	・他の判断基準などを用いて同一の個人情報を識別する。		
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	-	0190565	要配慮者を管理（登録・修正・削除・照会）できること。	◎	◎	◎	支援指図対象者とは住民基本台帳事務における支援指図を指すため、独自の表現として「要配慮者」として要配慮者という名称を使用している。		
1. 健康管理共通	1.3. データ管 理機能	1. 3. 7.	0190065	<p>個人単位及び事業単位で電話番号、携帯番号、E-mailアドレスの連絡先を管理でき、各事業の台帳画面や一覧抽出で表示できること。</p> <p>※1 連絡先構考も管理できること。（契約の優先先、登録事業、登録者、勤務先や知人の情報等を管理するため）</p> <p>【管理項目】</p> <p>「(別紙2-2) 管理項目_管理項目_01.【共通】」「個人連絡先」参照</p> <p>個人電話番号・E-mailアドレス・世帯電話番号の管理ができる。</p>	◎	◎	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (健育医療以外)	母子保健 (健育医療のみ)			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.8.	0190066	住基住所とは別に、送付先情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 送付先情報を利用目的単位で個人につき複数管理できること ※2 どの送付先情報を利用するかを帳票ごとに設定できること ※3 利用目的単位の送付先情報を登録事由（支援措置対象者や成年被後見人等）も管理できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[送付先情報]参照 送付先住所の管理ができる。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.9.	0190067	登録した送付先の情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.11.	0190069	事業予定に対して、予約希望者の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 ※1 予約登録時、事業予定が既に定員に達している場合は注意喚起（エラー・アラート）できること ※2 予約登録時、参加要件を満たしていない場合は注意喚起（エラー・アラート）できること ※3 予約時に登録番号を採番・登録できること ※4 予約登録時に別の事業予約、同一事業を別の日時で予約の確認できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[予約希望者管理]参照 申込み内容（健診方法・受診会場・受診日・健診項目）を個人単位で画面に入力できる。 予約申し込みの際に、上記で設定した対象者条件に適合するかのチェックができる。不適合の場合には警告メッセージが表示され、上記のチェック時の対象年齢は検査種別毎に設定できる。	○	○	×	事業に対する予約希望者の情報を管理する要件である。地方自治体の運用により予約希望者管理の必要有無が分かれるとため、標準オプション機能としている。		対象機能（成人検診のみ）
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.12.	0190070	事業予定に対して、予約希望者の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 ※1 複数回に渡る事業については、希望日程をまとめて予約登録できること 予約申し込みは、画面上で空き人数の確認ができる。	○	○	×			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.13.	0190071	事業予定に対して、予約希望者の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 ※1 予約登録時に既に定員に達している場合、キャンセル待ちとして登録できること ※2 キャンセルが出た際に、キャンセル待ち一覧から個人を選択し、予約登録ができること。 予約申し込みにて申し込み枠を超えてても、キャンセル待ちとして登録できる。また、キャンセルが出た際に、キャンセル待ち一覧が表示され、その一覧から個人を選択し、予約登録ができる。 予約申し込みは、画面上で空き人数の確認ができる。	○	○	×			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.14.	0190072	予約済みを一覧で確認できること。	○	○	×			対象機能（成人検診のみ）
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.15.	0190073	複数の事業予定に対して、指定した対象者を割り振ることができること。 ※1 割り振る対象者は、EUC等で抽出可能であること 予約申し込みは、あらかじめ抽出機能で抽出した任意の対象者を呼び出して登録できる。	○	○	×			対象機能（成人検診のみ）
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.16.	0190074	事業の対象者に対して、現住民と転出や死亡等の消除者の区別ができること。 ※1 転出や死亡等の消除者を一覧で確認できること	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.17.	0190075	事業の対象者に対して、転出や死亡等の消除者の区別ができること。 ※1 転出や死亡等の消除者について一括で予約解除ができること。	○	○	×			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.18.	0190076	帳票の発行履歴を管理できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[帳票発行履歴情報]参照 ※1 帳票の再出力や問い合わせ対応を行うための管理となるため、住民への通知物を対象とする 通知書や受診券等を発送した人については、発送済のフラグをセットできる。 通知書や受診券等を発送した人については、「いつ何を発送したか」といった送付状況が照会できる。 受診票を発送した人については、一括で発送済のフラグをセットできる。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.19.	0190077	帳票の発行対象者を管理でき、気づける仕組みとすること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[帳票発行対象者情報]参照	◎	◎	◎	検診受診者などのほか対象者に関する住民の事情により発送不要となる帳票を管理する要件である。指って発送対象に含まれていないか確認できる要件も含む。		
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	1.3.20.	0190078	帳票の発行対象者を一覧で確認できること。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I.3. データ管理機能	-	0190547	法令年限及び業務上必要な期間（保存期間）を経過した情報について、標準準備システムから物理削除できること。 標準準備システムにおいては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報を標準準備システムからできるだけ速やかに物理削除できること。 保存期間は、各地公団体が任意で指定できること。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I.4. 台帳管理機能	1.4.1.	0190080	対象者検索は、以下の項目を複数組み合わせてできること。 ・宛名番号 ・カナ氏名（通称名含む） ・漢字氏名（通称名含む） ・姓 ・生年月日（西暦・和暦） ・性別 ・住所 ・方言 ・電話番号 ※1 特定の個人を検索する場合である。事業の対象者一括抽出については各要件に従うこと。 ※2 消除者も検索できること。 ※3 遠近の検索履歴を残し、再検索できること 検索時に非住民（住民でない人：死者・転出者）を表示・非表示の選択ができる。 画面上で男性・女性・非住民（住民でない人：死者・転出者）が色分けで表示できる。 例：男性：赤字、女性：黒字 個人番号は宛名番号・個人番号・生年月日（西暦・和暦）、カナ氏名などのキー項目を使用して、個人特定ができる。 宛名番号・宛名番号（住基システム番号）、統合宛名番号のいずれでも検索ができる。 個人検索において、共通の検索項目に加えて、健育医療の受給者番号、申請年月日、有効期間を条件に検索が行える。	◎	◎	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 1.	0190081	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・地区 ・世帯番号 個人検索は、カナ、生年月日、性別、地区等での複合的な検索もできる。 上記検索キー以外に任意の項目を検索キーとして設定できる。 検索キーリスト:受診券登録番号、特定保健指導番号、母子手帳番号 検索履歴が管理され、検索履歴より再度前回入力検索を表示できる。 検索履歴は、次回ログイン時も検索履歴が保持できる。	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	-	0190453	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・接種券番号	○	×	×			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	-	0190454	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・母子手帳番号	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	-	0190455	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・受給者番号 (養育医療)	○	×	○			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 2.	0190082	氏名に関する検索は、住民登録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」(英字体や正字も包括した検索を除く。)ができる。 カナ氏名検索では清音・濁音の区別なく検索できる。(「ア」と「ア」、"ハ"と"ハ"等) カナ氏名検索では小文字・大文字の区別なく検索できる。(「ア」と「ア」、「ハ」と「ハ」等) カナ氏名検索では姓名間のスペース有無の区別なく検索できる。(二ホン タロウ=二ホンタロウ) カナ氏名検索ではワールドカード検索できる。(ニホン *ロウ=ニホン タロウ)	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 3.	0190083	対象者検索は、本名、通称名、英字名のいずれでも検索できること。 ※1 英字名は管理している場合に限る ※2 半角・全角を同一として検索できること	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 4.	0190084	対象者検索により、該当者が複数存在した場合は、該当者一覧を表示し、選択した明細で台帳画面に切り対象者を確定できること。 個人検索において、抽出条件該当者が2名以上いる場合は一覧で表示できる。 抽出条件該当者が2名以上となり一覧表示される場合、該当者をクリックすることで個人を特定できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 5.	0190085	各台帳画面で対象者を特定した際、支援措置対象者や要配慮者である場合は、気づける仕組みとすること。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に要注意情報が登録されている場合について注意喚起が表示される。 世帯員要注意情報の注意喚起から詳細内容の確認画面へ遷移することができる。 DW、虐待などの対象者については個人の照会時に住所が自動でマスクされ、住所変更を防止できる。 任意の条件で設定し、条件に該当する場合は注意喚起を表示することができる。 注意喚起の文言は来訪者の目に映れる可能性のある窓口業務を想定し、任意の内容で表示することができる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 6.	0190086	各台帳画面にて対象者を特定した際、各事業や申請種別により個人番号を確認できること。 ※1 個人番号を保持している場合の要件である ※2 所属や職員により利用権限設定できること 個人番号検索は、個人番号利用可能な事業のみ検索できる。 個人番号表示は、個人番号利用可能な事業のみ表示できる仕組とする。 データごとに個人番号利用可否を設定できる。 データ移出処理にて、個人番号管理データを移出不可とする。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 7.	0190087	各台帳画面にて対象者毎に、全事業共通、各事業のそれぞれのメモ情報を履歴で管理できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[メモ情報]参照 ※1 対象者を特定した際、メモ情報が存在する場合は気づける仕組みとすること ※2 所属(課や係等の単位)や職員(複数指定可)により利用権限設定できること 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員の特記事項履歴についても確認が可能である。 特記事項登録欄に記入欄が無が一目で確認できる。 対象個人と相談履歴がある場合は注意喚起が表示される。 特記事項としてワープロ入力ができる。 特記事項登録欄の確認記入欄に加え、入力画面に遷移することができる。 相談履歴の確認記入欄に加え、入力画面に遷移することができる。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員の特記事項履歴についても確認が可能である。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に相談履歴がある場合は注意喚起が表示される。	◎	◎	◎	個人に紐づくメモ情報及び世帯に紐づくメモ情報を管理する要件である。		
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 8.	0190088	各台帳画面で世帯毎に、全事業共通、各事業のそれぞれのメモ情報を履歴で管理できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[メモ情報(世帯)]参照 ※1 対象者を特定した際、メモ情報が存在する場合は気づける仕組みとすること ※2 所属(課や係等の単位)や職員(複数指定可)により利用権限設定できること 特記事項としてワープロ入力ができる。 特記事項登録欄の確認記入欄に加え、入力画面に遷移することができる。 相談履歴の確認記入欄に加え、入力画面に遷移することができる。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員の特記事項履歴についても確認が可能である。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に相談履歴がある場合は注意喚起が表示される。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.4. 台帳管理機能	1. 4. 9.	0190089	各台帳画面でWord、Excel等で作成した資料やPDF、画像ファイルを対象者と連携付けて管理できること。 ※1 対象者を特定した際、ファイルが存在する場合は気づける仕組みとすること ※2 所属(課や係等の単位)や職員(複数指定可)により利用権限設定できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_管理項目_01.【共通】」「[電子ファイル]参照 文書ファイル(Word、Excel、PowerPoint)にて作成したファイル。以下同様)を管理できる。 イメージファイル(PDF・JPEG等画像データ。以下同様)を管理できる。 個人単位、事業単位の文書ファイルとして管理できる。 文書管理を行うフォルダ構造は、Windowsのフォルダ構成と同様に構造化されている。 文書管理を行うフォルダ構造は、システム管理者にて任意のフォルダ文書管理を行なう。 文書管理を行うフォルダ構造は、5階層まで作成できる。 システム管理者にてフォルダ単位でのアクセス制御ができる。 アクセス制御はログインユーザー単位、グループ単位で設定できる。 文書ファイルはイメージファイル、表形式ファイル、文書形式ファイル等を含む。	○	○	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（決定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	受ける保険 (被保険者以外)	受けた保険 (被保険者のみ)			
				選択できる。、 登録ファイル登録の際に、登録を行なうオプション で文書ファイル、イメージファイル登録の際に、業務区分、事業区分を選択できる。 登録するオプションで文書登録の際に、任意の文書区分（タグコード）を登録する場合に、登録者、登録日を自動でセットできる。 登録するオプションで文書登録の際に、コメントの入力ができる。 登録済みの文書ファイルは編集して追記できる。 登録済みの文書ファイルは、クライアントにダウンロードすることなく直接閲覧できる。 文書ファイル・イメージファイルについて、登録フォルダ、業務区分、事業区分、文書区分1～3、コメント、ファイル名、登録者、登録日、更新者、更新日にて複合検索ができる。 登録結果を一覧から文書ファイル・イメージファイルを一括でダウンロードできること。 登録結果の一覧から文書ファイル・イメージファイルを選択、一括削除できる。 各種資料を主力情報に関連付けて取り込むことができる。						
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 10.	0190090	再転入時や住登外者から住民登録者になることにより宛名番号が変更された場合、変更後の宛名番号へ過去の履歴を統合して、同一人物の情報をとして利用できること。 ※1 再転入時は、住民登録システム標準仕様書において、「従前使用していた宛名番号をそのまま引き継ぐこと」となっているが100%ではない。 ※2 宛名番号が変更となり、別人の情報となることを防止するため、既に宛名番号の置き換えにより同一人物の情報をとして扱えるようにすること	◎	◎	◎			
				再転入者において、以前の宛名番号にて管理しているデータを新しい宛名番号に付けができる。						
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 11.	0190091	各事業の情報を一元的に照会できること。 該当照会画面にて、特定した個人が持っているデータに関係する検診名、事業名、システム名の概要を画面表示できる。 該当照会画面にて、過去の事業の受診日や総合判定等を画面表示できる。 該当照会画面から詳細照会画面へワンクリックで展開できる。 該当照会画面にて過去の各種検査結果（総合判定等）を引き継ぐ。 該当照会画面にて、画面に表示するデータは、情報が入力されている検診受診年数から必須に応じて任意選択できる。 該当照会画面にて、各種健診についてタブを分けて画面表示できる。 該当照会画面にて、各種健診についてタブを選択するだけで他の健診情報を確認できる。 該当の保健事業履歴（妊娠健診、教室、相談、等）が集約され、一画面で確認できる。 母子の保健事業履歴の詳細を別カインドで表示できることができる。	◎	◎	×	健康管理の各事業は連携する情報をそれぞれで管理しているため、横断的に情報の確認ができる要件としている。		
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 12.	0190092	必須入力項目を容易に判別でき、誤入力防止として保存前にチェックし、エラーや警告メッセージを表示できること。 ※1 データ要件の必須項目は、必須入力とすること	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 13.	0190093	人力項目に必須入力項目の設定ができる。 データの登録、修正時にデータ型、桁数のチェック（エラー）ができる。 ※1 各管理項目のデータ型、桁数はデータ要件に準拠すること	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 14.	0190094	データの登録、修正時に各管理項目間の整合性チェック（エラー・アラート）ができる。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 15.	0190095	データの削除時に削除実行してよいかの注意喚起（アラート）ができる。	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I. 4. 台帳管理機能	1.4. 16.	0190096	処理途中の状態から処理を中断する場合（保存前に検索や閉じるボタンを押下した場合等）は、中断後に注意喚起（アラート）を行うこと。 操作操作による中断を未然に防ぐこと。 ※1 オンライン画面による一覧表示や一括登録処理の場合も同様の注意喚起（アラート）ができること	◎	◎	◎			
I. 健康管理共通	I. 5. 一覧管理機能	1.5. 1.	0190097	EUC機能、「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定するEUCの機能を用いてデータを利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができる。 EUC機能で連携するデータ項目は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の「基本データリスト（健康管理システム）」の規定に従うこと。（健康管理システムとEUC機能を一体運用する場合） 連携するデータ項目については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できる。上位規制にて定義された基本データリストの利用不可と可能とする。 なぜか機能連携仕様にて他業務から取扱っているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。 ※1 支援措置対象者や要配慮者が含まれている場合は気づけること。 一覧入力画面で入力したデータの確認用CSVファイルが出来ます。 フォロー予報書の一覧を任意ファイルに登録できる。 医療機関等の外部機関とのデータ提供を想定したデータ移出ができる。 移出データは固定長、CSVの設定ができる。 移出データは月日付・住所の確認のほか、接頭・接尾文字の付加、コード等の付加機能が付いている。 移出バッチモードを「出力形式」(CSV、固定長)、区切り、見出し有無、文字形式、(UTF8、S-JIS)で設定できる。 移出項目においては、システムで管理している、項目を対象とした日付・住所等の選択のほか、接頭・接尾文字の付加、コード変換等の設定ができる。 内部のコード化された全ての情報を使用して抽出ができる。 条件をまたがった項目についても、同時に条件設定できる。 (例：住基登録での件名に加え、妊娠健診情報、乳がん検診情報も条件設定を行なう) 抽出後に件名が表示できる。 抽出結果が一致しない場合、「範囲」「過去データとの比較」で、条件抽出条件は「かつ」「または」「のぞく」で設定できる。 抽出条件は複数で設定できる。 一度設定した抽出条件をシステム内にパターン登録できる。 登録された抽出条件を呼び出した後も、自由に条件を変更できる。 登録された抽出条件については、登録番号・コメント・作成者・作成日時の登録が付与できる。 パターンの作成者については、システムで登録時のユーザ名が自動登録できる。 該当者一覧表のタブは、Excelへデータ連携できる。 抽出したデータを複数ついて、画面で数値・コード・カナ・日付の項目を並べ替えて並び替えることができる。 抽出された担当者は、任意にファイル登録ができる。 任意ファイルの作成については、ファイル名・コメントの登録及び登録人数・ロジンユーナー名・作成日時の登録記録ができる。 任意ファイルから対象者抽出後、帳票を出力する處理では、ソート順序・pdf形式を作成した時の登録番号（SEQ）を指定できる。 登録されたファイル同士を「かつ」「または」「のぞく」などで条件設定ができる。 登録されたファイルの用途、検査種別毎など階層的（担当者別、事業別など）で管理でき、検索、追加、削除ができる。 該当者世帯主、一人暮らし、高齢者世帯の特殊抽出条件設定ができる。 毎月、世界人口、国別区分履歴、成人健診対象者、初回受診者（2年連続未受診にて当年受診）など複雑な条件の特殊抽出条件設定ができる。 一覧表の出力列数が設定できる。 名簿・宛名の設定条件については、システムにパターン登録できる。	◎	◎	◎	当要件は、健康管理共通として定義してあるが、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
I. 健康管理共通	I. 5. 一覧管理機能	1.5. 1.	0190098	EUC機能による出力は、スケジュール管理（参照、登録、修正、削除）による自動実行ができる。	○	○	○			
				大量印刷時間の業務に支障が出る場合、深夜に時間を設定し、自動実行（pdf形式の作成、直接出力）させるための出力スケジュール機能が搭載する。 出力スケジュールについて、初期画面のバッチ処理状況にも表示される。 再入力機能連携機能（帳票出力後、同じ対象者に対して別の帳票出力が行える）がある。	○	○	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (健育医療以外)	母子保健 (健育医療のみ)			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.2.	0190099	健康管理システム(サブユニット含む)のEUC機能として、以下の共通要件を満たすこと。 ※1 年齢、BMI値など自動計算した項目についても、表示対象とすること ※2 任意の基準日時点の住民を抽出対象とできること	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	-	0190456	EUC機能で抽出した対象者宛名番号を保存し、再度呼び出すことができる。	○	○	○			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	-	0190457	宛名番号を表すリストを取り込むことができる。 ※取り込んだデータは機能ID0190097のEUC機能で抽出条件として使用できること	○	○	○	対象者リストとはcsvやExcelで作成されたファイル等を想定している。		
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.3.	0190100	各事業の任意の一覧抽出結果には、各台帳で管理している項目を表示できること。 ※1 コード項目は、コード値、日本語名称の表示を選択できること ※2 個人番号は含まない 抽出した該当者一覧を表示後、画面に表示する項目を設定できる。 一覧表については、任意の出力項目を選択できる。 一括表示形式は、氏名と出力の長さ、項目の並び順、項目の選択、削除はボタン操作でできる。 該当者一般名簿については、ユニーク側で設定し印刷できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.5.	0190102	各事業の一覧抽出結果において、任意の一覧抽出結果から対象を選択して検索を一括でできること。 抽出した該当者一覧表示の同一画面上で、更に条件を与えての絞込み検索ができる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.6.	0190103	各事業の任意の一覧抽出結果から宛名シール、窓空き宛名を一括出力でき、カスタマバーコードも印字できること。 抽出した該当者について、宛名印刷・一覧印刷などの全ての候選出力画面へ遷移できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.7.	0190104	同一世帯内に対象者が複数該当する場合は、世帯主1人分を出力できること。	○	○	×	世帯ごとに1回の発送物を渡付する運用を想定した要件であるが、自治体の運用により必ず無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.8.	0190105	各事業の任意の一覧抽出結果では、支援措置対象者や要配慮者が含まれていた場合は気づける仕組みとする。 総合照会画面にて、DV、虐待の対象者を照会時はアラートを画面表示できる。 総合照会画面にて、DV、虐待対象者のアラート表示内容を任意に設定できる。 抽出後にDV、虐待のアラート有り件数を確認できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.9.	0190106	各事業の一覧画面において、時間を要する検索条件が設定された場合は、検索結果の継続表示(アラート)ができる仕組みにする。 ※1 検索前に表示件数を指定できる等により、検索に時間がかかるない仕組みを含む	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1.5. 一覧管理機能	1. 5.10.	0190107	各事業の一覧画面において、一覧表示できる上限を超えるデータを取得する検索条件が設定された場合は、エラーとして検索条件の再設定を促す仕組みにする。 ※1 検索前に表示件数を指定できる等により、検索結果を分割して表示できるよう仕組みを含む	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.1.	0190108	■機能詳細件目 01. 02. ■ 帳票を出力するときは、窓空き封筒に対応でき、カスタマバーコードを印字できること。 ※1 通知書等のみならず、宛名印刷、宛名シールも対応できること ※2 カスタマバーコードは、帳票單位に印字有無を設定できること 宛名シール印刷時に、カスタマバーコードが印刷できる。	◎	◎	◎	標準管理共通として出力できる帳票として窓封を開いている。専用帳票が定義されていない場合においても、各事業の情報をEUC機能により抽出後、宛名シールもしくは宛名印刷で対応することを想定した要件となっている。		
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	-	0190458	外国人の氏名を出力する際、機能ID0190001で連携される氏名優先区分に従って、本名・通称名の出力制御ができる。 ※1 氏名優先区分に設定がない場合には、住民登録システム標準仕様書に記載の優先順に優先して表示される	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.2.	0190109	宛名部分は、送付先情報を優先して印字できること。 ※1 送付先情報を優先して印字するかしないかを選択できること 送付用宛名・住所がある方は送付用宛名・住所を優先し、出力できること。	◎	◎	◎	送付先情報が登録されている住民については、送付先情報を優先して宛名を印字するための要件である。		
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.3.	0190110	公印が必要な帳票を出力する場合は、電子公印を印字できること。 ※1 帳票単位で設定した電子公印を印字すること ※2 公印の印字有無をリモータで設定できること ※3 職務代理者の公印印字も対応できること	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.4.	0190112	文書番号をうつ通知書出力時は、手入力した文書番号を前後の記号文字も含めて印字できること。	○	○	○	健康管理において申請に関する業務は少ないことから、文書番号の印字要件は標準オプション機能としている。		
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.5.	0190113	通知書出力時は、発行日は任意で設定し、印字できること。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.6.	0190114	印刷時(PDFファイル保存時を含む)は印刷するかプレビューが選択できること。 出力内容をプレビュー表示し、必要なページのみ印刷できる。 プレビュー表示を行わずにプリントに直接出力、PDFの作成ができる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.7.	0190116	印刷時は電子ファイルでの保存が選択できること。 ※1 ExcelやWord形式での保存ができる 帳票の出力時にExcel、PDF形式の出力方法に対応できる。	○	○	○			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.8.	0190117	帳票の再出力を随時できること。 ※1 住民への通知物を対象とする	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.9.	0190118	帳票の一括出力時の出力順は任意で指定できること。 ※1 具体的な出力順は、事業や帳票種類により異なるため共通要件としては定めない 一覧者の出力順:改変性が自由に設定できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.9.	0190119	帳票の一括出力時の出力順は任意で指定できること。 ※1 出力順の保存、呼び出しができること	○	○	○			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.10.	0190120	通知書等の帳票を一括出力する時、支援措置対象者や要配慮者が含まれていた場合は気づける仕組みとすること。 ※1 出力順の保存、呼び出しができること ※2 通知書等の帳票を出力してから相手へ郵送するまでの間に、転出や死亡等で消除された者(抜き取り対象者)を一覧で確認できること。(EUCができないこと)	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.11.	0190121	通知書等の帳票を一括出力する時、転出や死亡等の消除者、往住外者を除いて出力できること。 ※1 必要に応じて、転出、死亡等の除外者を除いて印刷できる。	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	-	0190459	通知書等の帳票を出力してから相手へ郵送するまでの間に、転出や死亡等で消除された者(抜き取り対象者)を一覧で確認できること。(EUCができること)	◎	◎	◎			
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.13.	0190123	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。 二次元コード(カスタマバーコードを含む。)については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	◎	◎	◎	機能ID0190126で作成した帳票の印字項目も含めて、印刷事業者へ渡すためのデータ出力を想定している。		
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.13.	0190124	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについて印刷イメージファイル(PDF形式等)を作成し、出力できること。	○	○	○	機能ID0190126で作成した帳票の印字項目も含めて、印刷事業者へ渡すためのデータ出力を想定している。		
1. 健康管理共通	1. 6. 帳票出力機能	1. 6.14.	0190125	大量枚数を印刷する場合に、頁を指定して、分割印刷できること。	○	○	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
I. 健康管理共通	1.6. 條出力機能	1. 6. 15.	0190126	帳票レイアウト、帳票詳細要件に定められた帳票以外は、以下の対応が可能であること。 なおシステムからは印字用データを出しし、※1～※8をシステム外機能を活用して実装することも可とする ※1 帳票の追加開票がユーザ操作でできること ※2 帳票レイアウトはユーザ操作で設定できること ※3 印字する管理項目はユーザ操作で設定できること ※4 印字位置はユーザ操作で設定できること ※5 設定した帳票レイアウトは保持できること ※6 カスタマーバーコードを出力できること ※7 発名番号をバーコードに出力できること ※8 選書を出力できること 発名シールの印刷時に、カスタマーバーコードが印刷できる。 発名シールに発名情報を(郵便番号、住所、氏名)、任意の文字が入力・出力できる。 発名シールにおいて、各出力項目の詳細設定ができる。 例：フォント、フォントサイズ、出力開始位置、接頭語・接尾語(例：様、様方等)、年齢計算基準日 発名シールの印字位置(発名、住所等の印字位置)は任意で設定できる。 発名シールの印字位置調整は、マウス操作での移動・配置ができる。 発名シールの印刷は、一人の住民に対しての複数枚印刷が設定できること。 発名シールに発名番号をバーコードに変換して印刷できること。 発名シールの印刷時に、使い途中のシールの活用できることよう、印刷開始場所が設定できること。 発名印刷は、発名シールだけでなく、ハガキ・封筒への直接印刷もできる。 発名印刷は、ユーザ側で設定し印刷できる。 Excelでデザインした帳票システムに取り込み、システムで管理している項目(住民情報、検診情報)を任意で設定し、システムから印刷できること。 Excelでデザインした帳票に変更があった場合は、Excelで難形をメンテナンスし直すことができる。 帳票作成時「Excel」の機能(書式設定、数式、閑数、グラフ等)を活用できる。 帳票作成時にPDFファイル形式を選択した場合は、シェイプの出力もできる。 バーコード(0de39、CODABAR(NW-7)、カスタマーバーコード、およびQRコード)の出力ができる。 バーコードのサイズはJIS規格をもとに算出した値で出力できる。 ※出力プリントや読取機によって精度が異なるため、環境に応じたサイズ設定ができる。 印刷したデータをバーコードとして登録できる。 母子の情報を取り出し、母の情報(妊娠の情報など)を並べて出力できる。 例)児の3ヶ月健診の結果を条件に抽出し、母の妊娠履歴の情報を抽出する。 母親情報について、妊娠健診、フォローオン情報を年内に複数回登録する結果は、回数を指定して出力できる。 例)児の出生時情報を条件に抽出し、母の妊娠履歴の情報を過去5回分出力する。	◎	◎	◎	・地域住民の健康維持及び向上を目的とした地方自治体が創設工夫をしていく帳票デザインが、標準化に伴い使用できない事態を防ぐために、汎用的な帳票出力が可能とする要件である。 ・システムでは出力する能力のみを実現し、差違印刷する方法で一般的にシステム外機能を活用した方法であっても、※1～※8すべての対応が可能であれば要件を満たすこととなる。		
I. 健康管理共通	1.6. 條出力機能	1. 6. 15.	0190127	帳票レイアウト、帳票詳細要件に定められた帳票以外は、以下の対応が可能であること。 ※1 再出力時には、再発行であることがわかる印字ができること	○	○	○			
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	1. 7. 1.	0190128	訪問対象者を抽出できること。(EUCができること)	○	○	×	当要件は、健康管理共通として訪問事業を定義しており、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	1. 7. 2.	0190129	訪問申込情報の管理(登録・更新・削除・参照)ができること。 ※1 同一世帯の訪問状況を容易に把握できること。	◎	◎	×	各事業(成人保健、母子保健)の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	1. 7. 3.	0190130	訪問申込情報を一覧で確認できること。(EUCができること)	○	○	×			
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	1. 7. 4.	0190131	訪問結果情報の管理(登録・更新・削除・参照)ができること。	◎	◎	×	各事業(成人保健、母子保健)の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	-	0190548	訪問結果情報の管理(登録・更新・削除・参照)ができること。 ※1 結果情報を一括して登録できること。	○	○	×			
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	1. 7. 6.	0190133	訪問結果情報を一覧で確認できること。(EUCができること)	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	-	0190460	OCR処理等を介して、訪問結果情報を電子化したファイルの取り込みができる。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。 ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可といううえ、OCR機能を実装した場合、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要な機能とされている。		
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	-	0190461	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照が可能すること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 【別紙2-2】管理項目・管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×			
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	-	0190462	訪問結果情報を一括して取り込みできること。 ※1 登録時にデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。 ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×			
I. 健康管理共通	1.7. 訪問情報管理機能	-	0190463	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	1. 8. 1.	0190134	相談対象者を抽出できること。(EUCができること)	○	○	×	当要件は、健康管理共通として相談事業を定義しており、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	1. 8. 2.	0190135	相談申込情報の管理(登録・更新・削除)ができる。	◎	◎	×	各事業(成人保健、母子保健)の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	1. 8. 3.	0190136	相談申込情報の一覧を確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
I. 健康管理共通	1.8. 健康相談情報管理機能	1. 8. 4.	0190137	相談結果情報の管理（登録・更新・削除）ができること。 ※1 同一人物が同日に複数回を実施した場合でも管理ができるうこと ※2 担当者（従事者）はマスター管理されている従事者から選択できること ※3 “世帯構成を確認できること” 同日に複数回訪問や相談を実施した場合でも情報を分けて管理できる。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	1. 8. 6.	0190139	相談結果情報を一覧で確認ができること。（EUCができること）	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	-	0190464	OCR処理等を介して、相談結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かかれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能 자체は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要無が分かれるとため、標準オプション機能としている。		
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	-	0190465	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	-	0190466	相談結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 8. 健康相談情報管理機能	-	0190467	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 1	0190140	教育対象者を抽出できること。（EUCができること）	◎	◎	×	当事業は、健康管理共通として教育事業を定義しており、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している		
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 2	0190141	教育申込情報を管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 教育の受付と同時に出席登録ができること。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 3	0190142	教育申込情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 4	0190143	教育結果情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 5	0190144	教育結果情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 コース事業は、コース事業として管理ができること。（次回事業の受付がされること）	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 6	0190145	教育結果情報を一覧で確認できること。（EUCができること）	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	1. 9. 7	0190146	申込通知が 출력できること。（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×	帳票出力に関する機能要件ではあるが、国で様式等が定まっておらず、また地方自治体の運用による部分が大きいため、帳票レイアウト及び帳票詳細等を定めがない。機能ID0190126の機能を活用して、自分で帳票レイアウト等を定義することとしている。以下同様。		
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	-	0190468	OCR処理等を介して、教育結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能 자체は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要無が分かれるとため、標準オプション機能としている。		
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	-	0190469	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	-	0190470	教育結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 9. 教育情報管理機能	-	0190471	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
I. 健康管理共通	1. 10. フォローコード情報管理機能	1. 10. 1.	0190149	要フォロー者を指定して、フォロー予定情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 対象者の住所に該当する地区担当者（従事者）をフォロー担当者に設定できること 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」「フォロー状況情報」参照 フォロー対象者情報をとして把握経路、フォロー時期、方法状況などを管理できる。 フォロー状況として、「フォロー中」、「フォロー完了」、「フォロー情報なし」の3つの状態を消込区分で管理できること。 フォローの情報を持続管理できる。 フォロー予定期日、フォロー実施場所、フォロー内容、フォロー事業など フォロー情報は、最新情報だけではなく履歴管理ができる。	◎	◎	×			
I. 健康管理共通	1. 10. フォローコード情報管理機能	1. 10. 2.	0190150	フォロー者を個別に管理でき、気づける仕組みとすること。 ※1 所属（課や係等の単位）や職員（権限指定期）により利用権限設定できること ※2 対象者の住所に該当する地区担当者（従事者）をフォロー担当者に設定できること フォロー状況は、個人照会画面でフォロー完了、フォロー中のアイコンが画面表示できる。 当日のフォロー実施予定（フォロー予定期、事業名、予定期間、フォロー担当者）が、初期画面表示できる。 当月のフォロー実施予定がある日はカレンダー上にアイコンが画面表示される。 フォロー状況（フォロー中、フォロー済）、次回フォローの予定期が表示される。	◎	◎	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	1.10.3.	0190151	<p>※1 フォローオー者を指定して、フォロー結果（実績）情報を管理（登録・更新・削除・削除）できること。</p> <p>※2 不在等によりフォローが実施できなかった場合でも登録ができるること。</p> <p>※3 繰続フォローとなる場合、結果登録時に次回予定が登録できること。</p> <p>※4 フォローの経過が経年的に照会できること。</p> <p>※5 フォロー一覧者のフォロー結果を一括登録できること。</p> <p>【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」「フォロー状況情報」参照</p> <p>フォロー情報は、最新情報だけではなく履歴管理ができる。 フォロー情報の入力画面に遷移することができる。</p>	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	1.10.4.	0190152	<p>フォロー情報を一覧で確認できること（EUCができること）。</p> <p>※1 フォロー情報は予定・結果両方を含む</p> <p>※2 未フォロー者のみで絞り込みが可能</p> <p>フォロー情報（把握経路、フォロー予定期（月）、フォロー方法）を条件に対象者の抽出ができる。</p> <p>フォロー対象者の名簿が生成できる。</p> <p>フォロー予定期の一覧をExcelファイルに出力できる。</p> <p>フォロー予定期の一覧を任意の帳票に出力できる。</p>	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	1.10.5.	0190153	<p>伝真ごとに、フォロー記録を記録紙として出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。</p>	◎	◎	×			
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	-	0190472	<p>OCR処理等を介して、フォロー情報を電子化したファイルの取り込みができる。</p> <p>※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。</p> <p>※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラーエラーリストとして出力できる。</p> <p>※3 フォーラム等を用いてデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラーエラーリストとして出力できる。</p> <p>※4 フォーラム等を用いてデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラーエラーリストとして出力できる。</p>	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。		
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	-	0190473	<p>OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができる。</p> <p>※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする</p> <p>【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」「電子ファイル」参照</p>	○	○	×	・※2はデータ登録時チェックに関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	-	0190474	フォロー情報ファイルを一括して取り込みできること。	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.10. フォロー情報管理機能	-	0190475	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.11. 実施報告書管理機能	1.11.1.	0190154	<p>事業実施報告書（日報）の管理（登録・更新・削除・参照）ができる。</p> <p>※1 個人を特定せず事業の実施内容、参加人数等が登録できること</p> <p>※2 登録結果は機能ID0190436にて集計可能とすること</p> <p>【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」「実施報告書（日報）情報」参照</p>	○	○	×	実施事業の日報等を管理する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1. 健康管理共通	1.11. 実施報告書管理機能	1.11.2.	0190155	実施報告書（日報）情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.11. 実施報告書管理機能	1.11.3.	0190156	実施報告書（日報）が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×			
1. 健康管理共通	1.11. 実施報告書管理機能	1.11.4.	0190157	<p>職員間で伝言を送受信できること。</p> <p>※1 伝言として、重要度、掲載期限、伝言内容を設定できること</p> <p>※2 被収容者の職員に対して伝言を一斉送信できること</p> <p>【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_管理項目_01.【共通】」「伝言情報」参照</p> <p>ユーティリティ情報共有ツールとして、お知らせ機能（伝言）がある。 伝言登録については、重要度、掲載期間、表示先ユーザーを設定できる。</p>	○	○	○			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>(1)標準化範囲内の類型に記載の「類型1(実装必須機能)、類型3(標準オプション機能)について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	2.1.1.	0190158	希望調査票送付対象者を指定条件で抽出し、一覧を確認できること(EUCができること)。 ※1 機能ID0190161と同等の抽出条件の設定ができること	○	検診受診希望者の管理に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	2.1.2.	0190159	検診ごとに、希望調査結果情報を登録・更新できること。 ※1 複数検診の希望結果を一括で登録・更新できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_02.【成人保健】対象者管理」[希望調査結果]参照	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190476	希望調査結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができるこ	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190477	OCR処理等を介して、希望調査票を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができるこ	○	※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。		
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190478	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_01.【共通】」「[電子ファイル]」参照	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190479	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	2.1.3.	0190160	検診の受診希望者を地区別に割り振ること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.1.	0190161	検診ごとに対象者を指定条件で抽出し、一覧で確認できること(EUCができること)。 <抽出条件について> ※1 住民の基準日時点の住民を対象とできること ※2 住民の基準日で年齢計算ができること ※3 年齢計算は、暦による期間の計算（民法第143条第2項の計算）ができること ※4 年齢範囲を設定できること ※5 奇数年、偶数年、節目年の設定ができること ※6 年齢基準日は、年度末年齢、受診時年齢の設定ができること ※7 性別を設定できること ※8 当該年度の受診状態を参照した抽出ができること ※9 過年度の受診状態を参照した抽出ができること ※10 当該年度の申込状態を参照した抽出ができること 検診対象者の設定を年齢・性別・抽出機能で抽出した集団をもとに設定できる。 入力した対象判定については次年度にスライドできる機能があること。 年度途中の転入者、対象年齢到達者への追加判定自動振付（もしくは手動振付）ができる。 検診毎に対象判定の集計処理ができること。 年齢、性別、資格等の各種条件により対象者を抽出できる。 例) がんクーポン対象者、節目年齢健診等。 任意に設定する条件に添って、初回・非初回の受診者が抽出できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	-	0190563	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 HPV検査単独法のアルゴリズムとは、第40回がん検診のあり方にに関する検討会資料1「子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について」の5頁に示されているアルゴリズムである。	◎	HPV検査単独法のアルゴリズムとは、第40回がん検診のあり方にに関する検討会資料1「子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について」の5頁に示されているアルゴリズムである。	「がん検診のあり方にに関する検討会」における議論を踏まえて、令和6年2月14日付で指針において推奨される子宮頸がん検診にHPV検査単独法が追加された。	
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.1.	0190162	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 過年度の申込状態を参照した抽出ができること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.2.	0190163	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 国保資格を参照した抽出ができること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.3.	0190164	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 後期高齢資格を参照した抽出ができること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.4.	0190165	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 生活保護を参照した抽出ができること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.5.	0190166	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 住民税情報を参照した抽出ができること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.6.	0190167	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 複数検診を組み合わせた抽出ができること	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.7.	0190168	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 以下に該当する者は抽出から除外できる ・機能ID0190077に該当する者は抽出から除外できること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.8.	0190169	抽出時に、抽出条件を保存し、次回利用時に呼び出せること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.1.	0190170	電話や窓口等で検診希望受付をした場合に、申込情報の登録・更新・削除ができること。 ※1 当該年度に未受診の検診に対してのみ登録できること ※2 年度ごとに申込歴を管理できること ※3 事情により対象となる場合、その情報を管理できること ※4 「実施日」が空白であることが気づける仕組みであること。 (個別検診受付時等、実施日の入力が不要なケースを想定) 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_01.【共通】」「予約希望者管理】参照 対象判定(対象者管理)として未受診理由等を管理できる。 検診希望者については、受診希望医療機関や受診希望会場の登録ができる。 スケジュール一覧より検診予定日を選択して予約情報が参照・入力できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.1.	0190171	電話や窓口等で検診希望受付をした場合に、申込情報の登録・更新・削除ができること。 ※1 備数の検診について一括で設定ができること ※2 検診を組み合わせたものをバターンとしてセットできること 予約申し込みは個人ごとに複数の事業を画面遷移することなく登録できる 予約申し込みは事業を固定し、予約する事業を選択しなおすことなく個人を次々と入力できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.2.	0190172	申込情報をもとに受診票の随時発行処理ができること。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.3.	0190173	検診資格または負担金条件に影響する資格確認ができること。 ・国保資格 ・後期高齢資格 ・住民税(非課税世帯) ・生活保護 対象判定の手動入力を実行する際には同一画面上で連携している資格情報を確認できる。 同一画面で申込み入力、住基情報(住所・氏名・カナ氏名・生年月日・基準日で計算した年齢、住民区分、国保資格)の確認ができる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.4.	0190174	電子申請による申込情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合は生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示される。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー(一部項目がエラーのため未入力)が表示できる。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.5.	0190175	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.6.	0190176	申込情報登録時、各検診の受診状況を参照できること。 ※1 当該年度に既に申込済や受診済の情報も参照できること ※2 過去の申込・受診情報も参照できること ※3 ※1、※2が不正の場合は整合性チェック(エラー・アラート)がされること 申込情報登録時、各検診の受診状況を参照できること。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.6.	0190177	申込情報登録時、各検診の受診状況を参照できること。 ※1 自己負担金の情報を参照できること 同一画面で申込み入力、住基情報(住所・氏名・カナ氏名・生年月日・基準日で計算した年齢、住民区分、国保資格)の確認ができる。 検診種別毎、年齢別毎に料金を設定できる。 料金設定を年度毎に追加・更新できる。	○			対象機能
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.7.	0190178	申込情報登録時、対象年齢、性別、受診歴の間隔のチェックを行い、受診予定日時点年齢が不正の場合は整合性チェック(エラー・アラート)ができる。 ※1 機能ID0190052で登録した事業の情報に従いチェック(エラー・アラート)ができる。 予約申し込みの際に、上記で設定した対象者条件に適合するかのチェックができる。不適合の場合は警告メッセージが表示される。 上記のチェック時の対象年齢は検診種別毎に設定できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.8.	0190179	申込情報登録時、機能ID0190189、0190190で出力した無料クーポン券発行対象者情報を参照できること。	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	-	0190480	当日受付した健(候)診受付情報を登録・更新・削除できること。 ※1 様数検診の受付情報を一括で登録・更新できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_01.【共通】」「予約希望者管理」参照 「(別紙2-2) 管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [肺がん一次検診] [乳がん一次検診] [骨がん一次検診] [子宮頸がん一次検診] [大腸がん一次検診] [肝炎ウイルス一次検診] [脊椎疾症一次検診] [歯周疾患一次検診]	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	-	0190481	当日受付した健(候)診受付情報を登録・更新・削除できること。 ※1 検査資格または負担金条件に影響する資格により、自己負担金の計算ができること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	-	0190482	健診対象者データの出力ができること。(EUCでの対応も可とする)	○	ネットワーク接続不可な出先機関等での受付を想定した要件である。		
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	-	0190483	健診会場等で受け付けた受付データの取り込みができること。	○	ネットワーク接続不可な出先機関等で受け付けた受付情報を、帰戻後健康管理システムに取り込むことを想定した要件である。		
2.【成人保健】対象者管理	2.4.対象者一括参照機能	2.4.2.	0190181	検診ごとに受診票送付者(申込者)を一覧で確認できること(EUCができること)。 ※1 集団検診の場合、検診予定枠ごとに人数の把握、一覧確認が行えること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.4.対象者一括参照機能	2.4.3.	0190182	複数検診まとめて受診票送付者(申込者)を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.4.対象者一括参照機能	2.4.4.	0190183	申込情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※ 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.1.	0190184	希望調査票を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の受診希望を尋ねるものであり、対象者が自身の対象となる健(候)診内容を確認し、申し込むための帳票を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.2.	0190185	各検診の受診票を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 年齢等によって負担額が異なる場合、条件に応じた帳票または内容を出力できること。 ※2 日時や場所が決まっている場合(集団検診等)、以下の内容が受診票に出力できること。 ・実施予定日 ・受付時間 ・実施場所	◎	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等を受ける際に必要となる、受診可能な検診が出力された帳票を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	-	0190549	各検診の受診票を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 年齢等によって負担額が異なる場合、条件に応じた帳票または内容を出力できること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.2.	0190186	各検診の受診票を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 複数の検診を集約した総合受診券(複合受診券)を出力できること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.3.	0190187	各検診の案内(通知)を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 年齢等によって負担額が異なる場合、条件に応じた帳票または内容を出力できること。 ※2 日時や場所が決まっている場合(集団検診等)、以下の内容が案内(通知)に出力できること ・実施予定日 ・受付時間 ・実施場所	◎	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の対象となった住民の受診時期に合わせて、実施通知する帳票を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.3.	0190188	各検診の案内(通知)を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 複数の検診を集約した案内(通知)を出力できること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.4.	0190189	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業として実施している、子宮頸がん検診および乳がん検診の無料クーポン券が出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	子宮頸がん検診および乳がん検診が無料で受診できるクーポン券を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.4.	0190190	地方自治体で、各種検診の受診率向上、早期発見、早期治療に結びつけるための、無料クーポン券が出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	地方自治体で実施している各種検診(子宮頸がん検診、乳がん検診以外)が無料で受診できるクーポン券を想定している。		

健康管理システム

【実装区分】 ◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

*本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3. 本仕様の内容>(1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
3. 【成人保健】検診情報管理								
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.1.	0190191	<p>検診ごとに、住民を指定して結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。</p> <p>※1 年度ごとに受診歴を管理できること ※2 同一年度内の複数回受診も管理ができること。</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_03. 【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [肺がん一次検診] : 実施時年齢、喫煙指數 [乳がん一次検診] : 実施時年齢 [胃がん一次検診] : 実施時年齢 [子宮頸がん一次検診] : 実施時年齢 [大腸がん一次検診] : 実施時年齢 [肝炎ウイルス一次検診] : 実施時年齢 [骨粗鬆症一次検診] : 実施時年齢 [歯周疾患一次検診]</p> <p>現在実施中の成人健（検）診の情報を管理できる。 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。 未受診者抽出、未受診理由の情報を管理できる。 現在実施中の成人健（検）診の情報を管理できる。 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。 未受診者抽出、未受診理由の情報を管理できる。</p>	◎	<p>管理項目は、以下自治体検診結果用フォーマットのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2を参照</p> <p>01111: 肺がん一次検診セクション 01113: 乳がん一次検診セクション 01115: 胃がん一次検診セクション 01117: 子宮頸がん一次検診セクション 01119: 大腸がん一次検診セクション 01121: 肝炎検診一次検診セクション 01123: 骨粗鬆症一次検診セクション 01125: 歯周疾患一次検診セクション</p>		
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	-	0190484	<p>以下を自動計算できること</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_03. 【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [肺がん一次検診] : 実施時年齢、喫煙指數 [乳がん一次検診] : 実施時年齢 [胃がん一次検診] : 実施時年齢 [子宮頸がん一次検診] : 実施時年齢 [大腸がん一次検診] : 実施時年齢 [肝炎ウイルス一次検診] : 実施時年齢 [骨粗鬆症一次検診] : 実施時年齢 [歯周疾患一次検診] : 実施時年齢</p>	○			対象機能
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.2.	0190192	<p>住民を指定して健康診査情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。</p> <p>※1 生活保護受給者の健康診査情報を管理できること（生保対象区分により他の健康診査情報と区別して管理できること）</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_03. 【成人保健】検診情報管理」 [健康診査] 参照</p> <p>若年健診など、特定健診以外の健診データを管理できる。 生活習慣（問診、アンケート調査）の情報を管理できる。 BMIや血压分類、eGFR等の自動計算ができる。</p>	◎	<p>機能ID0190556にて、本機能で管理する生活保護受給者の健康診査情報を、生活保護システム及び生活保護版システムに提供する形を想定している。</p>		
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	-	0190566	<p>以下を自動計算できること</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_03. 【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [健康診査] : 保健指導レベル [健康診査] : メタボリックシンドローム判定 [健康診査] : BMI [健康診査] : eGFR [健康診査] : Non-HDL コレスステロール</p>	○			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.4.	0190194	住民ごとに、複数の検診結果を一度に照会できること。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.5.	0190195	申込情報（抽出も含む）がない場合でも結果の登録ができること。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.6.	0190196	検診の申込情報から個人を特定して、結果の登録ができること。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.7.	0190197	検診結果データ登録時、年度内重複受診の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができる。 入力時に年度内2回目以降の受診に対してエラーチェックができる。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.8.	0190564	検診結果データ登録時、国で示されている検診受診間隔チェック（エラー・アラート）ができる。 ※1 例：胃がん検診におけるX線検査と内視鏡検査の考え方方や、乳がん検診における2年間に亘る2回の隔年受診、HPV検査単独法のアルゴリズム等 ※2 地方自治体において独自の検診間隔で検診を実施している場合には、機能ID0190201に従いチェック（エラー・アラート）ができること。 (機能ID0190201は、機能ID0190052の市区町村拡張事業で登録した情報に従ったチェックである)	◎	<p>HPV検査単独法のアルゴリズムとは、第40回がん検診のあり方にに関する検討会資料1「子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について」の5頁に示されているアルゴリズムである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旧機能IDは0190198である。 「がん検診のあり方にに関する検討会」における議論を踏まえて、令和6年2月14日付けて指針において推奨される子宮頸がん検診にHPV検査単独法が追加された。 	
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.9.	0190199	検診結果データ登録時、対象年齢および性別のチェックを行い、年齢および性別が不正の場合には整合性チェック（エラー・アラート）ができる。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.10.	0190200	検診結果データ登録時、受診日時点で住民であるかチェックを行い、住民でなかった場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができる。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.11.	0190201	検診結果データ登録時、機能ID0190052で登録した事業の情報を従いチェック（エラー・アラート）ができる。	◎			
3. 【成人保健】検診情報管理	3.1. 検診結果管理機能	3.1.12.	0190202	検診ごとに結果情報を一括で登録できること。 入力は、一括入力画面より事業を中心て複数人まとめて入力できる。 (複数人の抽出は、予約者・更新日・生年月日・年齢・受診日などの条件を使用できる。)	○	ファイル取り込みではなく、オンライン上で複数件数を同時登録する機能である。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検結果管理機能	-	0190485	検診ごとに結果情報を連続で登録できること。	○	複数件数を同時登録するのではなく、受診日等を一度入力すれば、2件目以降入力を省略して連続的に単件登録できるような機能である。		対象機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検結果管理機能	3.1.13.	0190203	OCR処理等を介して、検診結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更を入れることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。	○	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR機能を用いたデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分られるため、標準オプション機能としている。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検結果管理機能	3.1.14.	0190204	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照がされること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「〔別紙2-2〕管理項目_管理項目_01.【共通】」「電子ファイル】参照 個人に紐付けて電子データの管理ができる。	○			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検結果管理機能	3.1.15.	0190205	検診ごとに、結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更を入れることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー（一部項目がエラーのため未入力）が表示できる。	◎	機能ID0190206のPHR対応に伴う医療機関標準XML以外の結果情報ファイルのことである。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検結果管理機能	3.1.16.	0190206	健（検）診結果の標準化様式の取り込みができること。 ※1 健診機関が地方自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマットのことである 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更を入れることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。	◎	PHR対応に伴う医療機関標準XML取り込みに関する要件である。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検結果管理機能	3.1.17.	0190207	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.18.	0190208	検診結果参照時、検査項目の基準値超過の確認ができること。 ※1 基準値は任意で設定が行えること ※2 基準値をもとに検診結果の色分け等により基準値超過の確認が行えること ※3 以下の場合に、生物学的性別で基準値が異なる検査項目については、台帳上の性別で基準値超過の確認ができること。 例) 生物学的性別と、台帳上の性別が異なり、生物学的性別と異なる判定を対象者が希望しているケース 標準値を超えてる結果項目は、色を変えて画面表示できる。	○	一般的な基準値は国指針で示されているものの、地域特性を鑑みて基準値を任意で設定する運用を想定した要件である。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.1.	0190209	検診ごとに、検診結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.2.	0190210	住民ごとに、各検診結果を経年で確認できること（EUCができること）。 受診結果を時系列で画面表示できる。 保健指導、基本健診、特定健診等の同一検査管理項目の受診結果を経年で画面表示できる。 例) 健診、教室で測定した血圧、体重を経年表示する。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.3.	0190211	検診ごとに、未受診者の抽出、一覧で確認ができる（EUCができること）。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.4.	0190212	複数検診同時に、未受診者の抽出、一覧で確認ができる（EUCができること）。	○			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.5.	0190213	検診ごとに、精密検査の対象者を抽出、一覧で確認ができる（EUCができること）。 ※1 検査項目を組み合わせた条件検索ができること ※2 受診日の範囲指定が行えること	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.6.	0190215	検診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.3.帳票出力機能	3.3.1.	0190216	各検診の結果票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の結果を通知する帳票を想定している。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.3.帳票出力機能	3.3.2.	0190217	未受診者勧奨通知が 출력できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の未受診者に対し、対象者別に勧奨通知や、受診状況確認を行うための帳票を想定している。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.3.帳票出力機能	3.3.3.	0190218	精密検査の受診票（紹介状）を输出できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	各種がん検診、独自施策事業等において、要精密検査の判定の対象者に対して、精密検査受診のお知らせや、受診票を输出することを想定している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第1.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理								
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	4.1.1.	0190219	<p>精密検査ごとに、住民を指定して結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。</p> <p>※1 受診歴を管理できること</p> <p>※2 一次検診結果が精密検査対象であるかチェック（エラー・アラート）できること。</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_04. 【成人保健】精密検査結果情報管理」の以下参照 [肺がん精密検査] [乳がん精密検査] [胃がん精密検査] [子宮頸がん精密検査] [大腸がん精密検査] [肝炎ウイルス精密検査] [骨粗鬆症精密検査] [歯周疾患精密検査]</p> <p>現在実施中の精密検査の情報を管理できる。 精密検査結果入力時に1次検診受診後、2年程度以上経過している場合は確認メッセージを画面表示できる。</p>	◎	<p>管理項目は、以下自治体検診結果用フォーマットのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2を参照</p> <p>01112: 肺がん精密検査セクション 01114: 乳がん精密検査セクション 01116: 胃がん精密検査セクション 01118: 子宮頸がん精密検査セクション 01120: 大腸がん精密検査セクション 01122: 肝炎検診精密検査セクション 01124: 骨粗鬆症精密検査セクション 01126: 歯周疾患精密検査セクション</p>		
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	-	0190486	<p>以下を自動計算できること</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_04. 【成人保健】精密検査結果情報管理」の以下参照 [肺がん精密検査] : 実施時年齢 [乳がん精密検査] : 実施時年齢 [胃がん精密検査] : 実施時年齢 [子宮頸がん精密検査] : 実施時年齢 [大腸がん精密検査] : 実施時年齢 [肝炎ウイルス精密検査] : 実施時年齢 [骨粗鬆症精密検査] : 実施時年齢 [歯周疾患精密検査] : 実施時年齢</p>	○			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	4.1.1.	0190220	<p>精密検査ごとに、住民を指定して結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。</p> <p>※1 一次検診情報の任意の管理項目を参照できること</p>	◎			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	4.1.2.	0190221	<p>精密検査ごとに、結果情報ファイルを使用して一括して取り込みできること。</p> <p>※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる</p> <p>自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできること。</p> <p>自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。</p> <p>自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できること。</p> <p>自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がバラメータで設定変更できる。</p> <p>自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー（一部項目がエラーのため未入力）が表示できる。</p>	○			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	4.1.3.	0190222	健（様）診結果の標準化様式の取り込みができること。	◎	PHRに対応に伴う医療機関標準XML取り込みに関する要件である。		
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	4.1.4.	0190223	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	4.1.5.	0190224	精密検査ごとに結果情報を一括で登録できること。	○	ファイル取込ではなく、オンライン上で複数件数を同時登録する機能である。		
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.1. 精密検査結果情報管理機能	-	0190487	精密検査ごとに結果情報を連続で登録できること。	○	複数件数を同時登録ではなく、受診日等を一度入力すれば、2件目以降入力を省略して連続的に単件登録できるような機能である。		
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.2. 精密検査結果一括参照機能	4.2.1.	0190225	精密検査ごとに、精密検査結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.2. 精密検査結果一括参照機能	4.2.2.	0190226	精密検査ごとに、未受診者勧奨対象者を抽出、一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.2. 精密検査結果一括参照機能	4.2.3.	0190227	精密検査情報を対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。	◎			
4. 【成人保健】精密検査結果情報管理	4.3. 帳票出力機能	4.3.1.	0190228	未受診者勧奨通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	精密検査の未受診者に対する、対象者別に勧奨通知や、受診状況確認を行うための帳票を想定している。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.3.帳票出力機能	4.3.2.	0190229	各精密検査の結果票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	精密検査の結果を通知する帳票を想定している。		
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.3.帳票出力機能	4.3.3.	0190230	受診者用、医療機関用の各精密検査の追跡調査用の帳票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	各種がん検診、独自施策事業等において、要精密検査とされた対象者が、医療機関を受診し、その診断結果を地方自治体が把握することを目的とした帳票を想定している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>(1)標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
5.【成人保健】訪問・相談・教育	訪問・相談・教育	5.1.1	0190231	訪問情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_訪問申込情報]および[成人保健_訪問結果情報]参照 現在実施中の健康教室、相談事業、訪問事業の情報を管理できる。	◎			
5.【成人保健】訪問・相談・教育	訪問・相談・教育	5.1.2	0190232	機能ID0190231以外の要件として、以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.7. 訪問情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.7. 訪問情報管理機能の各要件の実装区分に従うことを必須とする。	◎	機能・帳票要件_01.【共通】1.7. 訪問情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを中心として、※1を記載している。		
5.【成人保健】訪問・相談・教育	健康相談情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_個別指導申込情報]および[成人保健_個別指導結果情報]参照	5.2.1	0190233		◎			
5.【成人保健】訪問・相談・教育	健康相談情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_個別指導申込情報]および[成人保健_個別指導結果情報]参照	5.2.2	0190234	機能ID0190233以外の要件として、以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.8. 健康相談情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.8. 健康相談情報管理機能の各要件の実装区分に従うことを必須とする。	◎	機能・帳票要件_01.【共通】1.8. 健康相談情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを中心として、※1を記載している。		
5.【成人保健】訪問・相談・教育	教育情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_集団指導申込情報]および[成人保健_集団指導結果情報]参照	5.3.1	0190235		◎			
5.【成人保健】訪問・相談・教育	教育情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_集団指導申込情報]および[成人保健_集団指導結果情報]参照	5.3.2	0190236	機能ID0190235以外の要件として、以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.9. 教育情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.9. 教育情報管理機能の各要件の実装区分に従うことを必須とする。	◎	機能・帳票要件_01.【共通】1.9. 教育情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを中心として、※1を記載している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>(1)標準化範囲内の類型に記載の

「類型1(実装必須機能)、類型3(標準オプション機能)について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	要件区分			要件の考え方・理由	着目(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能	
					健康管理システム	母子保健 (健育医療以外)	母子保健 (健育医療のみ)				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊産婦出情報管埋機能	6.1.1.	0190237	妊娠届出(新規・転入)の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 ※1 多胎の場合にも管理できること ※2 母子手帳の発行及び再発行の情報も管理できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」「妊娠届出情報」および「妊娠届出アンケート」ならびに「母子健康手帳交付情報」妊娠の情報(届出日、電話番号、第何子、予定期、出産回数、生活習慣、出産に対する不安などの問診項目)を管理できる。 ハイリスク(10代・要注意者・育児支援連絡)のコメントを管理できる。 母子手帳情報を照合できること	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 80 母子保健法による妊娠の届出に関する情報			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊産婦出情報管埋機能	6.1.2.	0190238	妊娠届出時の妊娠週数、妊娠月数が自動算出できること。 ※1 届出日と出産予定期から届出時の妊娠週数と妊娠月数が自動的に設定できること ※2 自動算出後に修正できること	○	○	×			対象機能	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊産婦出情報管埋機能	6.1.3.	0190239	母子手帳情報登録時、母子手帳番号が自動付番できること。 母子手帳番号は「年度(西暦下2桁) + 登録支所+通番」を基本として、バーメットによって自由に付番条件を追加・編集できること。 なお、母子手帳番号の登録支所は固定であること ※2 母子手帳番号を手入力した場合に重複番号を抑止すること ※3 多胎児に対して付番ができること ※4 自動算出後に修正できること	○	○	×	・母子手帳番号を健康管理システムとして自動付番する要件であるが、自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。 ・付番方法は地方自治体により異なることからバーメットで自由に設定できることとする。			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊産婦出情報管埋機能	-	0190600	自治体別受診券IDを管理できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」「妊婦健診受診券ID情報」「妊婦健診受診券ID発行情報」参照	◎	◎	×	「自治体別受診券ID」はPMHとの連携(機能ID0190595)で利用する項目である。 ※令和6年度以降の先行実施の進捗・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえて、設定する。			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊産婦出情報管埋機能	-	0190601	母子手帳情報登録時、自治体別受診券IDが自動付番できること。 ※1 PMHとの連携仕様(機能ID0190595)に準じたIDを付番できること ※2 自動付番後に修正できること	○	○	×	PMHとの連携に伴い機能を追加			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊産婦出一覧管埋機能	6.2.1.	0190242	妊娠届出情報を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊産婦出一覧管埋機能	6.2.1.	0190243	妊娠届出情報を一覧で確認できること(EUCができること)。 ※1 乳児の情報も一覧で確認できること	○	○	×			対象機能	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊産婦出一覧管埋機能	6.2.2.	0190244	ハイリスク、フォロー対象者を一覧で確認できること(EUCができること)。 ※1 ハイリスク対象者の条件を設定できること ※2 フォロー対象者の条件を設定できること ハイリスクの対象者を抽出できる。	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊産婦出一覧管埋機能	6.2.3.	0190245	妊娠届出情報をにして、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.3.妊産婦票出力機能	6.3.1.	0190246	妊娠宛てのお知らせ通知を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.3.妊産婦票出力機能	6.3.2.	0190247	妊娠個人台帳を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×	妊娠個人台帳は妊娠婦に対してフォローアップを実施する際に、対象者の妊娠期から産後までの情報を一括で確認するための要件として設けています。			
6.【母子保健】妊産婦管理	-	-	0190488	出産の状態に係る情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」「出産の状態に係る情報」参照	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	-	-	0190489	出産の状態に係る情報を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.4.妊婦健診情報管埋機能	6.4.1.	0190248	妊婦健診の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 ※1 届出番号と一緒にして、健診回数の管理ができること ※2 以下のケースにおいても受診結果が管理できること。また区分等で見分けがつけられるること。(里帰り等他自治体で受診したケース) ※3 15回以上の健診回数上乗せを管理できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」「妊婦健診結果」参照 妊婦健診検査の情報(受診日、回数、調定期、結果など)を管理できること。 妊婦健診受診券を2枚同時使用した場合の情報を管理できる。 HTLV-1やウツミジアなどの補助検査用の情報を管理できる。	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊娠婦又は乳児若しくは幼児に対する健診検査に関する情報 妊婦健診情報>妊婦健診情報			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.4.妊婦健診情報管埋機能	6.4.2.	0190250	妊婦健診の各種情報をについて妊娠週数は自動算出もできること。 ※1 受診日と届出時の出産予定期から受診時点の妊娠週数を自動的に設定できること	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.4.妊婦健診情報管埋機能	6.4.4.	0190253	妊婦健診結果登録時、受診日時点住民であるかチェック(エラー、アラート)ができること。	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.5.妊婦健診情報管埋機能	6.5.1.	0190254	妊婦健診結果にに対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.6.妊婦健診費用助成機能	6.6.1.	0190255	未受診者への勧奨通知の出力ができるること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.6.妊婦健診費用助成機能	6.6.2.	0190256	妊婦健診受診券が出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 発行履歴の管理ができること ※2 任意の受診券(枚数)を選択して出力できること	○	○	×			対象機能	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.7.妊婦健診費用助成情報報管理機能	6.7.1.	0190257	妊婦健診費用助成の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること 【管理項目】 「[別紙2-2] 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」「妊婦健診費用助成」参照	◎	◎	×	妊婦健診費用助成は償還払いの要件を想定している。			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.7.妊婦健診費用助成情報報管理機能	6.7.2.	0190258	妊婦健診費用助成の上限金額が管理できること	○	○	×				
6.【母子保健】妊産婦管理	6.7.妊婦健診費用助成情報報管理機能	6.7.3.	0190259	妊婦健診費用助成情報を登録時、助成金額・助成回数の上限チェック(エラー、アラート)ができること。	○	○	×				

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (産育医療以外)	母子保健 (産育医療のみ)			
6.【母子保健】妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.8.妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.8.1.	0190260	決定日範囲を指定して妊婦健診査費用助成の費用助成の決定者を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.8.妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.8.2.	0190261	決定日範囲を指定して妊婦健診査費用助成の明細を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.8.妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.8.3.	0190262	妊婦健診費用助成情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.9.妊婦健診費用助成決定通知出力機能	6.9.1.	0190263	妊婦健診費用助成決定通知の出力ができること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊婦健診費用助成一覧管理機能	6.9.妊婦健診費用助成一覧管理機能	-	0190490	妊婦健診費用助成却下通知の出力ができること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊婦健診情報登録機能	6.10.妊産婦歯科健診の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊産婦歯科健診結果]参照	6.10.1.	0190264	妊産婦歯科健診の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊産婦歯科健診結果]参照	◎	◎	×	管理項目は、以下第一標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 他の母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健診登録に関する情報 妊婦健診情報>妊婦健診情報>妊婦歯科情報		
6.【母子保健】妊産婦歯科健診情報登録機能	6.10.妊産婦歯科健診情報登録機能	-	0190491	以下を自動計算できること 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」の以下参照 [妊産婦歯科健診結果]: 妊娠週数 [妊産婦歯科健診結果]: 「ありの場合」要治療のむし歯本数	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科健診情報登録機能	6.10.妊産婦歯科健診情報登録機能	-	0190492	妊産婦歯科健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)できること。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科健診情報登録機能	6.11.妊産婦歯科健診情報登録機能	6.11.1.	0190266	妊産婦歯科健診情報の結果を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科健診情報登録機能	6.11.妊産婦歯科健診情報登録機能	6.11.2.	0190267	妊産婦歯科健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科精密健診情報登録機能	6.12.1.妊産婦歯科精密健診情報登録機能	6.12.1.	0190268	妊産婦歯科精密の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 ※1 妊産婦歯科健診情報を参照できること 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊産婦歯科精密健診結果]参照	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科精密健診情報登録機能	6.12.1.妊産婦歯科精密健診情報登録機能	-	0190493	妊産婦歯科精密情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)できること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科精密健診情報登録機能	6.12.2.妊産婦歯科精密健診情報登録機能	6.12.2.	0190269	妊産婦歯科精密情報の結果を一覧で確認できること(EUCができること)。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦歯科精密健診情報登録機能	6.12.2.妊産婦歯科精密健診情報登録機能	-	0190494	妊産婦歯科精密情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.13.1.妊産婦精密健診情報登録機能	6.13.1.	0190270	妊婦精密健診の結果情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦精密健診結果]参照	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.13.1.妊産婦精密健診情報登録機能	-	0190495	妊婦精密健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)できること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.13.2.妊産婦精密健診情報登録機能	-	0190496	妊婦精密健診情報の結果を一覧で確認できること(EUCができること)。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.21.1.妊産婦精密健診情報登録機能	-	0190497	妊婦精密健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.14.1.妊産婦健診情報登録機能	6.14.1.	0190272	妊婦健診の結果情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦健診結果]参照 産後うつ(エジンバラ)の情報を管理できる。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.14.1.妊産婦健診情報登録機能	-	0190498	産婦健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)ができること。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.14.2.妊産婦精密健診情報登録機能	6.14.2.	0190273	以下を自動計算できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_08.【母子保健】産婦健診結果」の以下参照 [母子保健_産婦健診結果情報]: EPOS評価点数 [母子保健_産婦健診結果情報]: 赤ちゃんへの気持ち評価点数 産後うつ(エジンバラ)の入力結果より点数計算ができる。	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.15.1.妊産婦精密健診情報登録機能	6.15.1.	0190275	妊娠健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	6.22.1.妊産婦精密健診情報登録機能	-	0190499	妊娠健診受診券が付出できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦精密健診情報登録機能	-	-	0190500	妊娠健診費用助成の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊娠健診費用助成]参照	◎	◎	×	妊娠健診費用助成は償還払いの要件を意図している。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分 健康管理システム ・母子保健 (健育医療以外)	実装区分 健康管理システム ・母子保健 (健育医療のみ)	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能	
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.23.産婦健 診費用助成情 報管理機能	-	0190501	産婦健診費用助成の上限額が管理できること	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.24.産婦健 診費用助成情 報管理機能	-	0190502	産婦健診費用助成情報を登録時、助成金額・助成回数の上限チェック(エラー・アラート)ができること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.24.産婦健 診費用助成情 報管理機能	-	0190503	決定日範囲を指定して産婦健康診査費用助成の決定者を一覧で確認できること(EUCが該きること)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.24.産婦健 診費用助成情 報管理機能	-	0190504	決定日範囲を指定して産婦健康診査費用助成の明細を一覧で確認できること(EUCが該きること)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.25.産婦健 診費用助成帳 票出力機能	-	0190505	産婦健診費用助成情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.25.産婦健 診費用助成帳 票出力機能	-	0190506	産婦健診費用助成決定通知の出力ができること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.25.産婦健 診費用助成帳 票出力機能	-	0190507	産婦健診費用助成却下通知の出力ができること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.16.産婦精 密健診情報管 理機能	6.16.1.	0190276	産婦精密健診の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理【産婦精密健診結果】参照	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.16.産婦精 密健診情報管 理機能	-	0190508	産婦精密健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)ができること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.26.産婦精 密健診一覧管 理機能	-	0190509	産婦精密健診情報の結果を一覧で確認できること(EUCができること)。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.26.産婦精 密健診一覧管 理機能	-	0190510	産婦精密健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.17.産後ケ ア情報管理機 能	6.17.1.	0190278	産後ケア事業の申請および利用実績情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理【産後ケア事業情報】参照	○	○	×	産後ケア事業に関しては母子保健法に示されているものの、実装実績が少ない事業であることから標準オプション機能としている。		
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.17.産後ケ ア情報管理機 能	6.17.3.	0190280	産後ケアの各種情報を登録時、助成金額・助成回数の上限チェック(エラー・アラート)ができること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.17.産後ケ ア情報管理機 能	-	0190511	負担金条件に影響する資格確認ができること。 ・住民税(非課税世帯) ・生活保護	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.27.産後ケ ア情報管理機 能	-	0190512	産後ケアの各種情報の結果を一覧で確認できること(EUCができること)。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.27.産後ケ ア情報管理機 能	-	0190513	産後ケアの各種情報をに対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.18.産後ケ ア帳票出力機 能	6.18.1.	0190281	産後ケア助成券、決定通知書、委託施設への依頼書を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.31.妊婦のため の支援給付支 給状況管 理機能	-	0190602	妊婦のための支援給付支給状況の情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「別紙2-2」管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理【妊婦のための支援給付支給状況】参照	◎	◎	×	妊婦のための支援給付の給付実績管理の要件を追加		
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.31.妊婦のため の支援給付支 給状況管 理機能	-	0190603	妊婦のための支援給付支給状況情報を登録時、支給申請(認定)日時点での住民であるかチェック(エラー・アラート)ができること。	◎	◎	×	妊婦のための支援給付の給付実績管理の要件を追加		
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.32.妊婦のため の支援給付支 給状況管 理機能	-	0190604	妊婦のための支援給付支給状況情報をに対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×	妊婦のための支援給付の給付実績管理の要件を追加		
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.33.妊婦のため の支援給付支 給状況管 理機能	-	0190628	妊婦給付認定通知書を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	ごも家庭より公開予定の参考様式に基づきに出力すること。	妊婦のための支援給付における帳票出力の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.33.妊婦のため の支援給付支 給状況管 理機能	-	0190642	妊婦給付認定申請却下通知書を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	ごも家庭より公開予定の参考様式に基づきに出力すること。	妊婦のための支援給付における帳票出力の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管 理	6.33.妊婦のため の支援給付支 給状況管 理機能	-	0190643	妊婦支援給付金支払通知書を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	ごも家庭より公開予定の参考様式に基づきに出力すること。	妊婦のための支援給付における帳票出力の要件を追加	

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (健育医療以外)	母子保健 (健育医療のみ)			
6.【母子保健】妊婦管理	6.33.妊婦のための支援給付支給状況帳票出力機能	-	0190644	妊娠給付認定通知書兼妊婦支援給付金支払通知書を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	子ども家庭局より公開予定の参考様式を基に提出すること。	妊娠のための支援給付における帳票出力の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.34.妊婦のための支援給付支給状況帳票出力機能	-	0190645	妊娠給付認定取消通知書を出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	子ども家庭局より公開予定の参考様式を基に提出すること。	妊娠のための支援給付における帳票出力の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.34.妊婦のための支援給付支給状況口座振込機能	-	0190629	支給決定された情報をもとに、全国銀行協会フォーマットの様式で口座振込データを作成できること。	○	○	×		妊娠のための支援給付における口座振込関連の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.35.妊婦等包括相談支援機能	-	0190630	妊婦等包括相談支援の情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦等包括相談支援(1回目)] [妊婦等包括相談支援(2回目)] [妊婦等包括相談支援(3回目)] 参照	◎	◎	×		妊婦等包括相談支援管理の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.35.妊婦等包括相談支援登録時、実施日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)ができること。	-	0190631		◎	◎	×		妊婦等包括相談支援管理の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.36.妊婦等包括相談支援一覧機能	-	0190632	妊婦等包括相談支援情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×		妊婦等包括相談支援管理の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.37.里帰りの情報管理機能	-	0190633	里帰りの情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[里帰りの情報] 参照	◎	◎	×		令和7年6月改版のデータ標準レイアウトに里帰りの情報が追加となっていたことから要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.37.里帰りの情報管理機能	-	0190634	里帰りの情報登録時、把握日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)ができること。	◎	◎	×		令和7年6月改版のデータ標準レイアウトに里帰りの情報が追加となっていたことから要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.38.里帰りの一覧機能	-	0190635	里帰りの情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×		令和7年6月改版のデータ標準レイアウトに里帰りの情報が追加となっていたことから要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190514	OCR結果等を介して、結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 OCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。 ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる	○	○	×	※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR能力等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して生成したデータ取り込み機能に入る要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれらるため、標準オプション機能としている。 ・健康管理システムの標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190515	OCR結果等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 OCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル] 参照	○	○	×		健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190516	事業ごとに、結果情報等の電子ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。 ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる	◎	◎	×		健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190517	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	◎	◎	×	健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能条件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>(1)標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	機能区分			実装の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	電子承認 (審査履歴以外)	電子承認 (審査履歴のみ)			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.1.出生時情報管理機能	7.1.1.	0190296	出生時状況（出生連絡票の情報）の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】「(別紙2-2) 管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[出生時状況]参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊産婦又は乳房若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 出生時の情報の項目		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.1.出生時情報管理機能	7.1.2.	0190297	出生時状況（出生連絡票の情報）の情報登録時、カウブ指数、バーセンタイル値の範囲は手入力の方に自動算出できること。 ※1 カウブ指数は身長・体重から自動計算できること ※2 身長・体重・頭団・胸囲のバーセンタイル値を自動計算できること	◎	◎	×	バーセンタイル値の範囲の算出については、「乳幼児生长发育評価マニュアル」をもとに算出する。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.1.出生時情報管理機能	7.1.3.	0190298	母親情報は往記情報の継承から判断可能な場合は自動設定できること。 または往記情報を参考し、母親を選択できること	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.1.出生時情報管理機能	7.1.4.	0190299	父親情報は往記情報の継承から判断可能な場合は自動設定できること。 または往記情報を参考し、父親を選択できること	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.1.出生時情報管理機能	7.1.5.	0190300	出生時の情報と母親の妊娠前の情報を紐づけて参照できること。 子供の情報を抽出し、母親の情報（妊娠時の情報など）を並べて出力できる。 例) 児の3ヶ月健診の結果を条件に抽出し、母の妊娠前の情報を出力する。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.2.出生時情報管理機能	7.2.1.	0190303	出生児情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.2.出生時情報管理機能	7.2.2.	0190304	ハイリスク、フォロー対象者を一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 ハイリスク対象者の条件を設定できること ※2 フォロー対象者の条件を設定できること	◎	◎	×	ハイリスク対象者は、「ハイリスク」という項目をもとに抽出するのではなく、自由に抽出条件を設定し、リスクが高いと考えられる者を抽出する機能を意図している。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.2.出生時情報管理機能	7.2.3.	0190305	出生児情報と母親の妊娠時情報を紐づけた、新生児訪問予定期のリストを一覧で確認できること（EUCができること）。 母親情報について、妊娠健診、フォローアップ等の年度内に複数回登録する結果は、回数を指定して出力できる。 例) 児の出生時情報を条件に抽出し、母の妊娠健診の情報を過去5回分抽出する。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.2.出生時情報管理機能	7.2.4.	0190306	出生児情報をに対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.3.新生儿聴覚スクリーニング検査情報管理機能	7.3.1.	0190307	新生児聴覚スクリーニング検査の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】「(別紙2-2) 管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[新生児聴覚検査結果]参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊産婦又は乳房若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 出生時の情報の項目>新生児聴覚検査結果項目		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.3.新生儿聴覚スクリーニング検査情報管理機能	-	0190519	新生児聴覚スクリーニング検査結果で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.4.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.4.1.	0190308	新生児聴覚スクリーニング検査情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.5.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.5.1.	0190309	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】「(別紙2-2) 管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[新生児聴覚スクリーニング検査費用助成]参照	○	○	×	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成は償還払いの条件を意識している。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.5.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.5.2.	0190310	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の上限額が管理できること ※1 検査方法によって上限額を可変できること	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.5.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.5.3.	0190311	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の上限チェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.6.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成一覧管理機能	7.6.1.	0190312	決定日範囲を指定して新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の費用助成の決定者を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.6.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成一覧管理機能	7.6.2.	0190313	決定日範囲を指定して新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の明細を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.6.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成一覧管理機能	7.6.3.	0190314	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.7.新生儿聴覚スクリーニング検査費用助成決定期間管理機能	7.7.1.	0190315	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成決定通知の出方ができること（機能ID019026に準じて出力）。	○	○	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	健康管理システム	実装区分 育子保健 (健診履歴以外)	育子保健 (健診履歴のみ)	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	導入オプション構築のうち、 搭載を希望する機能	
7.【母子保健】乳幼児管理	7.7.新生児健診スクリーニング検査費用助成却下通知の出力ができること(機能ID019026に準じて出力)。	7.7.2.	0190316	新生児健診スクリーニング検査費用助成却下通知の出力ができること(機能ID019026に準じて出力)。	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	-	7.8.乳幼児健診対象者管理者機能	0190520	事業ごとに対象者を指定条件で抽出し、一覧で確認できること(EUCができますこと)。 <抽出条件について> ※1 住民の基準登録時点の住民を対象とできること ※2 年齢別登録日と年齢計算ができること ※3 年齢計算は、届によつ期間の計算(民法第143条第2項の計算)ができること ※4 年齢範囲を指定できること ※5 受診状況を参照した抽出ができること ※6 発送対象外者や他市来診済みの対象児を除外できること	○	○	×			対象機能	
7.【母子保健】乳幼児管理	7.8.乳幼児健診対象者管理者機能	7.8.1.	0190317	集団健診の事業予定に対して対象者を割り振ることができること。 ※1 指定した事業(健診種類、場所、予定日、時間)に指定した条件(生年月日範囲・地区)の住民を割り振りできること ※2 生年月日範囲と人数を指定し自動的に割り振りできること ※3 自動的に割り振りした場合には世帯番号が同じ住民が別の事業予定に割り振られることがあること ※4 割り満たさない住民と未割り振りの住民を区別できること ※5 発送対象外者や他市来診済みの対象児を除外できること	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.8.乳幼児健診対象者管理者機能	7.8.2.	0190318	乳幼児健診対象者を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児健診対象者】参照	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	-	7.8.自治体別乳幼児健診IDを管理できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児健診【自治体別乳幼児健診ID情報】参照	0190605	自治体別乳幼児健診IDを管理できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児健診【自治体別乳幼児健診ID情報】参照	◎	◎	×	自治体別乳幼児健診IDはPHとの連携(機能ID0190595)で利用する項目である。	PHとの連携に伴い機能を追加 ※令和6年度以降の先行実施の進捗・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえて、設定する。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.8.乳幼児健診対象者管理者機能	7.8.3.	0190319	各健診の健診対象者を一覧で確認できること(EUCができますこと)。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.1.	0190636	乳幼児健診情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」以下の参考 カ月別健診結果 1か月児健診アンケート 3~4か月児健診結果 3~4か月児健診アンケート 5歳6か月児健診結果 5歳6か月児健診アンケート 1歳6か月児健診結果 1歳児健診結果 3歳児健診アンケート 3歳児歯科健診結果 5歳児健診結果 5歳児健診結果アンケート 乳幼児健診結果(その他健診) 乳幼児歯科健診結果(その他歯科健診)	◎	◎	×	健診事業をそれぞれ管理する要件である。 旧機能IDは0190567である。	令和7年6月のデータ標準レイアウト改訂に伴い追加となった事業を追記。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.2.	0190606	乳幼児健診情報を登録時、自動算出可能な内容は手入力の他に自動算出もできること。 ※1 カウント指数は身長・体重から自動計算できること ※2 身長・体重・頭囲のパーセンタイル値の範囲を自動計算できること ※3 肥満度は身長・体重から自動計算できること ※4 肥満度は受診から自動計算できること	◎	◎	×	パーセンタイル値の範囲・カウフ指数・肥満度の算出については、「乳幼児身体発育評価マニュアル」をもとに算出する。 旧機能IDは0190321である。			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	-	0190550	画面の情報から以下を自動計算できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」 【1歳6か月定期健診結果】: 現在直教、要観察直教、う歯統数 【3歳児歯科健診結果】: 現在直教、要観察直教、う歯統数	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.3.	0190322	過去の複数事例で保持している乳幼児健診受診歴を一覧で確認できること(EUCができますこと)。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.4.	0190323	集団健診の入力は事業の予約または参加者など対象者を指定した条件で抽出し、複数個人を一度に登録することができること。	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.5.	0190324	乳幼児健診情報を入力時に世帯情報確認ができること。	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.6.	0190325	発育曲線(身長、体重、頭囲、胸囲)の表示、出力ができること。	○	○	×			対象機能	
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.7.	0190326	乳幼児健診情報の入力、表示時に予防接種情報、妊婦情報、相談・教育情報、フォローアップ情報、予約情報等の関連する情報を容易に閲覧できること。また、任意の情報の修正画面に遷移することができる。	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.8.	0190327	乳幼児健診結果情報を登録時、対象年齢範囲内かチェック(エラー・アラート)ができること。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	-	0190521	乳幼児健診情報を登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)ができること。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.9.	0190328	精密健診の依頼について依頼内容を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[精密健診の依頼]参照	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.9.10.	0190329	情報提供ネットワークシステムより取扱した他の市町村で実施した健診受診履歴を管理(登録・更新・削除・照会)できること。 【管理項目】「別紙2-2」管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[健診受診履歴]参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 ⑥6.母子保健法による妊産婦又は乳児等の健児に対する健診受診履歴			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.9.乳幼児健診情報報機能	7.10.1.	0190330	乳幼児健診結果を一覧で確認できること(EUCができますこと)。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.10.乳幼児健診一覧管理者機能	7.10.1.	0190331	乳幼児健診結果に加えて、出生時情報も一覧で確認できること。	○	○	×				
7.【母子保健】乳幼児管理	7.10.乳幼児健診一覧管理者機能	7.10.2.	0190332	精密健診の対象者を一覧で確認できること(EUCができますこと)。	○	○	×				

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分 ○ 子供健診 (登録候補以外)	実子供健 (登録候補のみ)	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション構成のうち、 搭載を希望する機能	
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.10.3.	0190333	乳幼児健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。	◎	◎	×				
※1 健康管理と共に記載のEUC機能の要件を満たすこと										
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.11.1.	0190334	健診案内通知が 출력できること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×	健診会場や時間等をお知らせするための案内文・健診時に持参しなければならない荷物ではない)を出力する機能を想定。			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.11.2.	0190335	健診受診票が 출력できること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×	健診受診時に健診機関・健診会場等に提出するよう(会員となりうる)帳票を出す機能を想定。			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.11.3.	0190336	精密健診票が 출력できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	精密健診対象者が精密健診受診時に利用する受診票を出力する機能を想定。		対象機能	
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.11.4.	0190337	診察依頼書が 출력できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	医療機関に対して提示する診察依頼書を出力する機能を想定。			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.12.1.	0190338	乳幼児精密健診の各種情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照。 ⑥ 母子保健法による妊娠若しくは初回に対する健診登録に関する情報 1歳6か月の精密健診受診票情報 3歳の精密健康査受診票情報			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	-	0190522	以下を自動計算できること	○	○	×	【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」 「乳幼児精密健診結果」:月齢			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	-	0190523	乳幼児精密健診情報を登録時、受診日時点で住民であるかチェック(エラー・アラート)できること。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.13.1.	0190340	精密健診結果を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.14.1.	0190341	未受診者勧奨情報を管理(登録・更新・削除・照会)できること。	◎	◎	×	【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」 「未受診者勧奨情報」参照			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.15.1.	0190342	未受診者を一覧で確認できること(EUCができること)。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.16.1.	0190343	未受診者への勤怠通知の出力ができること(機能ID0190126に準じて出力)。	◎	◎	×				
7.【母子保健】乳幼児管理機能	-	0190524	ORR処理等を介して、結果情報等を電子化したファイルの取り込みができる。	○	○	×	※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み込まれたときに生成されるファイルを読み込み可能である。 ※2は処理等を介して作成してデータ取り込み機能に関する要件である。各地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。 ・健康管理システム標準仕様に沿って実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.20.1. [結果情報等取込機能]	-	0190525	ORR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。	○	○	×	※1 ORエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できる。 ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる		
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.20.2. [結果情報等取込機能]	-	0190526	事業ごとに、結果情報等の電子ファイルを一括して取り込みできること。	◎	◎	×	※1 ORエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できる。 ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる		
7.【母子保健】乳幼児管理機能	-	0190527	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	◎	◎	×	健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.19.1.	0190349	母子カード(母子カルテ)が输出できること(機能ID0190126に準じて出力)。母子カードには妊娠届と乳児の情報が输出できること。	○	○	×	出生時の情報から各健診結果を一覧で確認するための帳票機能を想定。			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第1.1版】」>3.本仕様の内容>(1)標準化範囲内の類型に記載の「類型1(実装必須機能)、類型3(標準オプション機能)について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	機能区分			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	電子健康 記録 (登録・更新・照会)	母子保健 (登録・更新・照会)			
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.1.訪問情報管理機能	8.1.1.	0190350	訪問情報を管理(登録、修正、削除、照会)できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の「母子保健_訪問申込情報」および「母子保健_訪問結果情報」参照 新生児訪問の情報(訪問日・訪問状況・訪問者名・訪問時月齢・フォローの有無)を管理できる。	◎	◎	×			
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.1.訪問情報管理機能	-	0190528	以下を自動計算できること 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の「下部開き評価点数」 [母子保健_訪問結果得点数] [母子保健_訪問結果情報] 赤ちゃんへの気持ち評価点数	○	○	×			対象機能
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.1.訪問情報管理機能	-	0190607	以下を自動計算できること ※1 カウフ指數は身長、体重から自動計算できること ※2 身長・体重・頭囲・胸囲のパーセンタイル値を自動計算できること	○	○	×			
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.1.訪問情報管理機能	8.1.3.	0190352	その他の訪問に関する要件は以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.1.訪問情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.7.訪問情報管理機能の各要件の実装区分に沿うことを必須とする 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。	◎	◎	×	機能・帳票要件_01.【共通】1.7.訪問情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.2.相談情報管理機能	8.2.1.	0190353	相談情報を管理(登録、修正、削除、照会)できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の「母子保健_個別指導申込情報」および「母子保健_個別指導結果情報」参照	◎	◎	×			
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.2.相談情報管理機能	8.2.2.	0190354	その他の相談に関する要件は以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.8.健康相談情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.8.健康相談情報管理機能の各要件の実装区分に沿うことを必須とする 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。	◎	◎	×	機能・帳票要件_01.【共通】1.8.健康相談情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.3.教育情報管理機能	8.3.1.	0190355	教育情報を管理(登録、修正、削除、照会)できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の「母子保健_集団指導申込情報」および「母子保健_集団指導結果情報」参照	◎	◎	×			
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.3.教育情報管理機能	8.3.2.	0190356	その他の教育に関する要件は以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.9.教育情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.9.教育情報管理機能の各要件の実装区分に沿うことを必須とする 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。	◎	◎	×	機能・帳票要件_01.【共通】1.9.教育情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.4.帳票出力機能	8.4.1.	0190357	訪問票(フェイシート)が出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。	○	○	×	訪問時に対象児の出生情報等を確認するための帳票を想定。		対象機能
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.4.帳票出力機能	8.4.2.	0190358	個人の経過記録表が出力できること(機能ID0190126に準じて出力)。 ※1 「訪問」「相談」問わず台帳に出力ができること。	○	○	×	訪問、相談、教育実施時に対象児の健診結果や指導歴を確認することを目的に出力する帳票を想定。		対象機能

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>(1)標準化範囲内の類型に記載の「類型1(実装必須機能)、類型3(標準オプション機能)について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機械ID	機能要件	機能要件			要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	電子承認 (審査履歴以外)	電子承認 (審査履歴のみ)			
9.【母子保健】 9.1.申請情報 管理機能 育医療 管理	9.1.1.	0190359	養育医療の申請情報を管理(登録・変更・削除・照会)できること。 【管轄項目】 「(別紙2-2) 管理項目_09.【母子保健】養育医療管理」[養育医療申請情報]参照 ※1 徵収基準月額は、階層区分をもとにシステムで自動設定できること 未熟児養育医療の申請および審査結果の情報を管理できる。 更新申請、変更申請およびその理由を管理できる。 前回の入力内容を再利用して入力できる。 申請番号を入力することで、その者の氏名、生年月日、住所が自動で入力される。 階層区分を選択すると徴収基準月額が自動で入力される。 徴収基準月額は任意の金額も入力できる。 階層区分に応じた徴収基準月額をマスク管理できる。	○	×	◎	養育医療全般に関して、政令市や中核市等一部運用を行っているがそれ以外の市町村では、現状では実施していない状況である。上記状況を踏みて標準オプション機能としている。 管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 12 母子保健法による養育医療の給付又は養育医療に要する費用の支給に関する情報			
9.【母子保健】 9.1.申請情報 管理機能 育医療 管理	-	0190529	以下を自動計算できること 【管轄項目】 「(別紙2-2) 管理項目_09.【母子保健】養育医療管理」の以下参照 [養育医療申請情報]:徴収基準月額(加算考慮)	○	×	○				
9.【母子保健】 9.1.申請情報 管理機能 育医療 管理	9.1.2.	0190360	養育医療の申請情報登録時、受給者番号は手入力の他に自動算出(連番等)でできること。 新規申請時に受給者番号を自動で探查できる。	○	×	○				
9.【母子保健】 9.1.申請情報 管理機能 育医療 管理	9.1.3.	0190361	養育医療の申請情報登録時、階層区分は手入力の他に自動算出でできること。 ※1 養育医療の階層区分マスクを参照し、地方税の額から階層区分を自動算出できること 所得税額を入力すると階層区分、徴収基準月額が自動で入力される。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.1.申請情報 管理機能 育医療 管理	9.1.6.	0190363	養育医療の申請情報入力時に住民毎に以下の情報の参照ができること。 ・住民情報 ・世帯情報 ・税情報 申請者、保護者の入力は、対象者の世帯一覧の候補から選択して入力できる。 上記項目について、候補から選択の際に世帯外の住民も個人検索から設定できる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.2.申請情報 管理機能 育医療 管理	9.2.1.	0190365	養育医療の申請情報を一覧で確認できること(EUCができること)。 申請および認定の履歴が時系列に確認できる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.2.申請情報 管理機能 育医療 管理	9.2.2.	0190366	申請情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと その他任意の統計データが抽出できる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.3.判定機能 管理機能 育医療 管理	9.3.1.	0190367	判定結果情報を管理(登録・変更・削除・照会)できること 【管轄項目】 「(別紙2-2) 管理項目_09.【母子保健】養育医療管理」[養育医療申請情報]参照 指定医機関を選択して、医療機関を一覧から選択して入力できる。 指定医機関を入力することで、その機関の住所、電話番号が自動で入力される。 審査の結果、不認定となった患者を入力できる。	○	×	◎	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 12 母子保健法による養育医療の給付又は養育医療に要する費用の支給に関する情報			
9.【母子保健】 9.3.2.判定機能 管理機能 育医療 管理	9.3.2.	0190368	判定結果情報を登録時、診療予定期間及び有効期間の開始日と終了日の整合性チェック(エラー・アラート)ができる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.4.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.4.1.	0190369	養育医療実績情報を管理(登録・変更・削除・照会)できること 【管轄項目】 「(別紙2-2) 管理項目_09.【母子保健】養育医療管理」[養育医療実績情報]参照 医療給付の実績情報を管理できる。	○	×	◎	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 12 母子保健法による養育医療の給付又は養育医療に要する費用の支給に関する情報			
9.【母子保健】 9.4.2.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.4.2.	0190370	養育医療実績情報を登録時、診療年月が医療券の有効期間内であるかチェック(エラー・アラート)ができる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.4.3.実績情報 管理機能 育医療 管理	-	0190530	養育医療実績情報を登録時、同一の旅行情報が既に登録済みでないかチェック(エラー・アラート)ができる。 ※1 診療年月、医療機関、入院・食事・通院別が同一の給付情報の重複について確認すること ※2 レセプト区分が過誤・返戻・再審査の場合は除外	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.4.3.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.4.3.	0190371	養育医療実績情報を国保連合会から送付される医療給付データを使用して登録できること。 社会保険診療報酬支払基金および国民健康保険団体連合会の医療給付データ(CSV形式)の取り込みができる。	○	×	○	国保連合会の医療給付データに関しては都道府県で仕様が異なるケースが想定されることから標準オプション機能としている。			
9.【母子保健】 9.4.4.実績情報 管理機能 育医療 管理	-	0190531	養育医療実績情報を支払基金から送付される医療給付データを使用して登録できること。	○	×	◎	ファイル取り込みの対象となるファイルは、社会保険診療報酬支払基金より提供される連名簿(CSV形式)とする。			
9.【母子保健】 9.4.4.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.4.4.	0190372	医療給付データ取込時にエラーチェックを行い、エラーリストを出力できること ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラーリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラーリスト内には保存でき呼び出すことができる	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.5.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.5.1.	0190374	養育医療給付実績を一覧で確認できること(EUCができること)。 医療給付実績一覧系列に確認できる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.5.2.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.5.2.	0190375	養育医療実績情報を対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.5.3.実績情報 管理機能 育医療 管理	9.5.3.	0190376	養育医療給付決定情報を一覧で確認できること(EUCができること)。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル(PDF)としても出力できる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.6.1.帳票出力 機能 育医療 管理	9.6.1.	0190377	■帳票詳細要件01■ 「養育医療給付実績」の出力ができる。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル(PDF)としても出力できる。	○	×	◎				
9.【母子保健】 9.6.2.帳票出力 機能 育医療 管理	9.6.2.	0190378	■帳票詳細要件02■ 「養育医療券」の出力ができる。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル(PDF)としても出力できる。	○	×	◎				

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保険 (養育扶養以外)	母子保険 (養育扶養のみ)			
9.【母子保健】養育扶養機能	9.6.帳票出力機能	9.6.3.	0190379	養育医療給付決定通知書の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 保護者及び医療機関向けの送付用シールの出力も含む。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけではなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	○			
9.【母子保健】養育扶養機能	9.6.帳票出力機能	9.6.4.	0190380	却下となった方への通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけではなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	○			
9.【母子保健】養育扶養機能	9.6.帳票出力機能	9.6.5.	0190381	継続協護承認書、継続協護承認書送付分（保護者・医療機関宛）が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけではなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	○			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は間わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
10.【予防接種】対象者管理								
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	10.1.1.	0190382	予防接種種類別接種回数ごとに接種対象者を、指定条件で抽出し、一覧を確認できること（EUCができること）。 ※1 各接種の接種／罹患を参照した抽出ができること ※2 生涯接種可能回数を参照した抽出ができること ※3 同一接種種類の接種間隔を参照した抽出ができること ※4 異なる接種種類の接種間隔を参照した抽出ができること 予防接種法、定期の予防接種実施要領に従った各予防接種の対象者を抽出できる。 基準日を任意に指定して、年齢や生年月日で対象者を抽出できる。 住基情報（年齢など）に加えて、各予防接種の接種・未接種（複数接種選択）を条件に抽出ができる。 例) 6歳以下で麻疹・風疹両方とも未接種の人 抽出の際には、複数回接種の予防接種については、指定回数を条件に抽出ができる。 例) 不活化ボリオの1回目・2回目の両方を受けている人	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種デジタル化を踏まえ中項目名を変更した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190532	機能ID0190382に加え、以下ができること。 ※1 身体障害者手帳情報を参照した抽出ができること。	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	10.1.2.	0190384	資格情報を参照し、自己負担減免対象者を抽出できること（EUCができること）。 ・住民税 ・生活保護	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 接種対象者抽出機能	10.1.3.	0190385	新型コロナワクチンの対象者情報をについて、ワクチン接種記録システム（VRS）への情報提供用ファイルが作成できること。 ※1 IFはデジタル庁発出の事務連絡内、「別紙」データフォーマット「接種対象者登録」に規定	×	VRSへの対象者情報連携に関しては、住民登録台帳もしくは予防接種会帳のいずれかから連携を行う方針となっているため、標準オプション機能としている。	VRSにおいて令和6年度以降の定期接種に係る登録機能が廃止されていること、また、新型コロナワクチンについても予診情報・予防接種記録管理・請求支払システムでの管理対象となっていることから、機能を削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190608	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに予防接種対象者情報を提供後、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで予防接種対象者ごとに採番された予防接種管理番号の情報を受領し確認できること。 ※1 「IFID_SIF_A01_002 予防接種管理情報の取得（JSON）」「IFID_FIF_A01_002 予防接種管理情報の取得（CSV）」に準拠すること	○	・マイナポータルで勘査する対象者リストを地方自治体で確認し、必要に応じてリストの追加を行いう機能である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所「【業務フロー】A. 予防接種対象者の登録・通知」 4: 健康管理システムへの予防接種管理情報連携 上記等にて予予・請求システムから健康管理システムへ、予防接種管理情報受領タスクがあり、予防接種管理番号の連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで採番された予防接種管理番号を、地方自治体が健康管理システムで確認するために必要な機能であることから新規追加した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190609	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、勘査対象候補者リストを受領し確認できること。 ※1 勘査対象者の加除ができること ※2 「IFID_001 勘査対象候補者リストの要求」「IFID_008 マイナボ勘査対象候補者リストの受信」に準拠すること	◎	・マイナポータルで勘査する対象者リストを地方自治体で確認し、必要に応じてリストの追加を行いう機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで抽出された勘査対象候補者リストを、地方自治体で認証する運用の場合に必要な機能であるため新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190610	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、除外者とされているリストを受領し確認できること。 ※1 「IFID_011 除外者リストの要求」及び「IFID_012 除外者リストの受信」に準拠すること	◎	・上記機能で受領する「勘査対象候補者リスト」には除外者が含まれないため、自治体において、除外される対象者を把握するための機能である。	<3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 勘査機能は予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190611	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、健康管理システムで編集した勘査対象候補者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに提供できること。 ※1 「IFID_010 マイナボ勘査対象候補者リストの送信」に準拠すること (上記IFは予予・請求システム→健康管理システムのIFであるが、逆方向のIFとなる想定である)	◎	・地方自治体で編集した対象者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに返却する機能である。	<3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 勘査機能は予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190612	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルで勘査した接種勘査結果情報を、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに要求できること。 ※1 「IFID_004 接種勘査結果の要求」に準拠すること	◎	・マイナポータルで勘査した結果を、健康管理システムで確認できる機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> マイナポータルで勘査した結果を健康管理で活用可能とするため新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190613	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルで勘査した接種勘査結果を、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、受領し確認できること。 ※1 「IFID_005 接種勘査結果の受信」に準拠すること	◎	・マイナポータルで勘査した結果を、健康管理システムで確認できる機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> マイナポータルで勘査した結果を健康管理で活用可能とするため新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査機能	-	0190614	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルでの勘査を実施しない勘査対象者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、受領し確認できること。 ※1 「IFID_009 マイナボ以外からの勘査対象候補者リストの受信」に準拠すること	◎	・マイナポータルでの勘査を実施しない勘査対象者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに要求し、健康管理システムで受領・確認できる機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> マイナポータルでの勘査を実施しない勘査対象者リストに対して、地方自治体で勘査を実施する際に必要な機能であるため式追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。	

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勘査管機能	-	0190615	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナーポータルでの勘査を実施しない勘査対象者リストに対して、健康管理システムで勘査した結果情報を、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに提供できること。 ※1 「IFID 006 接種勘査結果の送信」に準拠すること	◎		版で定める予定。 <3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 勘査機能は予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.1.	0190616	住民ごとに予診票発行情報の管理（登録・更新・削除・照会）ができること。 ※1 風じんの追加的対策のクーポン券も含まれる 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予診票発行情報]参照	◎	【対象者であることを確認できる地方自治体が発行する何等かの帳票】を便宜的に「予診票」と表記している。接種券等、他に該当する帳票がある場合はそちらが該当することとなり、適宜読み替えを行うこと。「10.2. 個別発行機能」についてすべて同様とする。	新型コロナワクチン定期接種化に伴い、臨時接種（新型コロナウイルス感染症）に係る予防接種の実施に関する手引き）に基づく記載を削除した。 旧機能IDは0190386である。	
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.1.	0190387	予診票発行情報を一括で登録できること	◎	ファイル取り込みではなく、オンライン上で複数枚数を同時登録する機能である。		
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.2.	0190388	予診票発行時に、各接種情報を参照可能であること。	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190551	予診票発行時に、接種資格に影響する資格情報の確認ができること。 ・身体障害者手帳	○			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190535	予診票発行時に、自己負担金に影響する資格情報の確認ができること。 ・住民税 ・生活保護	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190552	予診票発行時、同一予防接種が接種済み（二重接種）かチェックを行い、既に接種済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができる。 ※1 他自治体での接種情報も含めてチェックができること ※2 生涯接種可能回数を踏まえた（二重接種が不可の範囲を）チェックとすること。たとえば、日本脳炎のように回すつ接種可能な複数の回数がある場合は、同一回数が接種済みかをチェックする。高齢者インフルエンザのように、生涯で同一回数を複数回接種可能な場合は、同一年度内の接種歴のみチェックとすること	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190553	予診票発行時、接種対象が罹患済みかチェックを行い、既に罹患済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	○			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190554	対象年齢（有効期限）のチェックを行い、不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.3.	0190389	他市町村・医療機関等への接種依頼の管理（登録・更新・削除・照会）ができる。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[他市町村・医療機関等への接種依頼]参照	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.1.	0190391	予診票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.1.	0190617	予診票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 接種対象者番号を識別できる情報を印字できること	◎	マイナーポータルでの勘査を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 地方自治体で発行した予診票を医療機関に持参した際に個人特定が可能となるよう、接種対象者番号を識別できるものを印字する要件を追加した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	-	0190536	予診票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 定期接種実施要領に基づいた多言語での出力に対応できること	○	・マイナーポータルでの勘査を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。 ・地方自治体によって必要となる言語が異なることが想定されるため、定期接種実施要領で例示されている言語すべてに対応している必要はない。日本語以外に1言語以上対応できれば要件を満たしているとは言える。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化により、勘査フローが変更となるため、補足を追記した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.2.	0190392	予診票貼付シールが出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○			
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.2.	0190618	予診票貼付シールが出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 接種対象者番号を識別できる情報を印字できること	○	マイナーポータルでの勘査を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 地方自治体で発行した予診票を医療機関に持参した際に個人特定が可能となるよう、接種対象者番号を識別できるものを印字する要件を追加した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.3.	0190393	案内（通知）が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	マイナーポータルでの勘査を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化により、勘査フローが変更となるため、補足を追記した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.4.	0190394	新型コロナワクチンの接種券（接種券（兼）接種済証）が出力できること。 ※1 接種券（兼）接種済証の接種済証まで含む ■帳票詳細要件02、03■ 新型コロナワクチン接種の接種券	×	初回接種の接種券について、3回目を単独の用紙で印刷する選択の場合は、追加接種（帳票詳細要件03）の様式を参照すること。	新型コロナワクチン定期接種化に伴い、臨時接種（新型コロナウイルス感染症）に係る予防接種の実施に関する手引き）に基づく記載を削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.5.	0190395	新型コロナワクチンの接種券（接種券一体型予診票）が出力できること。 ※1 接種券一体型予診票の接種券部分が当要件に該当する ■帳票詳細要件01■ 新型コロナワクチン接種の接種券	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
10. 【予防接種】 対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.5.	0190396	新型コロナワクチンの予診票が出力できること。 ※1 接種券一体型予診票の接種券部分以外が当要件に該当する ■帳票詳細要件04■ 新型コロナワクチン接種の予診票	×			
10. 【予防接種】 対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.6.	0190397	新型コロナワクチンの接種済証が印刷できること。 ※1 接種券一体型予診票の場合に、接種券とあわせて発行する接種済証が当要件に該当する。（接種後の証明書類はVRSの機能、機能ID0190422、機能ID0190423のいずれかを使用すること。） ■帳票詳細要件06、07■ 新型コロナワクチンの接種済証	×			
10. 【予防接種】 対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.7.	0190398	予防接種実施依頼書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
10. 【予防接種】 対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.8.	0190399	風しん追加的対策におけるクーポン券が出力できること。 ■帳票詳細要件01■ 風しん追加的対策クーポン券 ※1 帳票詳細要件及び帳票レイアウトは、案内文書との統合様式にて示す。案内文書とクーポン券が別用紙（長形3号封筒用サイズ）の場合、クーポン券部分が様式を満たしていればよい。（長形3号封筒用サイズの帳票詳細要件及び帳票レイアウトは割愛している）	◎	風しん追加的対策は時限事業であるため、事業が終了した場合は実装不可とする想定	新型コロナワクチン定期接種化対応の修正に伴い、帳票詳細要件の番号を変更した。	

健康管理システム

【実装区分】 ◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.1.	0190400	<p>住民ごとに予防接種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。</p> <p>※1 「予防接種情報」には、接種の結果だけではなく、予診や罹患等の情報も含む。以降要件についても同じ。</p> <p>※2 他自治体で受けた接種情報についても管理が行えること</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」の以下参照 [各種予防接種の接種実績] [風疹抗体検査実績] [罹患情報]</p> <p>現在実施中の予防接種の情報（接種日、接種判定、医療機関名、ロットNo、調停日、特記事項）を管理できる。 各予防接種の予診票の情報を管理できる。 各予防接種の同時接種の情報を管理できる。 ワクチンの情報（予防接種名、ロットNo、製薬会社、ワクチン名、検定合格日、有効年月日）が管理できる。 同一の予防接種において、異なるワクチン種別（H>PVなど）がある場合には、それぞれ管理できる。 同一年度内に複数接種を行った場合（高齢者インフルエンザ）にも情報を管理できる。 接種名・接種時期・ワクチン情報の有無を同一画面に表示できる。 予防接種の結果情報の詳細を別ウインドウで表示することができる。 接種可能だが未接種のワクチンを一目で確認できる。</p>	◎	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 84 予防接種法による予防接種の実施に関する情報	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化後は、各種予防接種の接種実績は、医療機関から予防接種・予防接種記録管理／請求支払システムへの登録を想定しており、健康管理システムで登録する運用はなくなり、照会のみとなる。そのため機能ID0190620実装後は当機能は実装不可となる想定である。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.1.	0190619	<p>住民ごとに予防接種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。</p> <p>※1 風疹抗体検査実績、罹患情報を管理する機能である。</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」の以下参照 [風疹抗体検査実績] [罹患情報]</p>	◎		<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化後は、各種予防接種の接種実績は、医療機関から予防接種・予防接種記録管理／請求支払システムへの登録を想定しており、健康管理システムで登録する運用はなくなり、照会のみとなるため修正した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	-	0190620	<p>住民ごとに、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから取得した接種記録を表示できること。</p> <p>※1 データの参照、取り込みは問わず、照会した情報を健康管理システムで利用できること</p> <p>【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」の以下参照 [各種予防接種の接種実績]</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・管理項目は今後IFに変更される予定である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】 H_その他」ファイル14ページ H-3：接種記録の連携 H-4：接種記録の連携 上記等にて予予・請求システムから健康管理システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。 	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化後は、各種予防接種の接種実績は、医療機関から予防接種・予防接種記録管理／請求支払システムへの登録を想定しており、健康管理システムで登録する運用はなくなり、照会機能を新規追加した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.3.	0190402	同一世帯員の予防接種情報を参照できること。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.4.	0190403	照会時に接種可能時期に完了していない予防接種が確認できること。 接種可能だが未接種のワクチンを一目で確認できる。 接種可能時期に接種完了できていない接種を画面表示できる。 接種可能な期間（対象年齢）を過ぎているにも関わらず、未接種のワクチンに対して警告表示される。 定められた接種間隔や接種時期に沿って接種が行われていない接種記録に対して、他の接種記録と色分けして表示される。	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.6.	0190405	<p>予防接種情報を一括で登録できること。</p> <p>※1 入力に際して、次の項目はバーコードを使用した登録が行えること。 -宛名番号 -予防接種の種類 -接種回数</p> <p>入力は、一括入力画面より事業を中心には複数人まとめて入力できる。 (被教人の抽出は、予約者・更新日・生年月日・年齢・受診日などの条件を使用できる。) 各予防接種の入力時に同一条件（接種、接種日、ロットNo）の対象者を一括で入力できる。 一括で入力する際は、対象者リストの画面表示ができる。 一括で入力する際は、初期条件（接種日）の設定ができる。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 予診票に記載される情報のうちバーコード化が可能と想定される項目を※で定義している。 ・ファイル取込ではなく、オンライン上で複数枚数を同時登録する機能である。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定 		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	-	0190537	<p>予防接種情報を連続で登録できること。</p> <p>※1 入力に際して、次の項目はバーコードを使用した登録が行えること。 -宛名番号 -予防接種の種類 -接種回数</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 複数枚数を同時登録するのではなく、予防接種の種類や接種日等を一度入力すれば、2枚目以降入力を省略して連続的に単件登録できるような機能である。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定 		対象機能
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.7.	0190406	<p>OCR処理等を介して、予防接種情報を電子化したファイルの取り込みができる。</p> <p>※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。</p> <p>※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。</p> <p>※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる。</p> <p>自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がハラメータで設定変更できる。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR機能を用いたデータ取り込み機能に関する要件があるが、地方自治体の運用により必要有無が分られるため、標準オプション機能としている。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定 		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.8.	0190407	<p>OCR処理等を介して読み取った領収のイメージファイルを電子ファイルで保存し、参照ができること。</p> <p>※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。</p> <p>【管理項目】 「〔別紙2-2〕管理項目_管理項目_01.【共通】」〔電子ファイル〕参照 個人に紐付けて電子データの管理ができる。</p>	○			
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.9.	0190408	<p>予防接種情報を一括で取り込みできること。</p> <p>※1 新型コロナワクチンに関しては、ワクチン接種記録システムから提供されるファイルの場合もある。IFはデジタル庁発出の事務連絡内、「〔別紙〕データフォーマット「予防接種台帳向け出力」」に規定</p> <p>※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。</p> <p>※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができる。</p> <p>自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がハラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー（一部項目がエラーのため未入力）が表示できる。</p>	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.10.	0190409	エラー対応後再度取込処理を実施できること。	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.11.	0190410	<p>予防接種情報を登録時、前回接種歴との間隔チェックを行い、間隔が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）がされること。</p> <p>※1 同一接種種類の接種間隔についてチェックを実施すること</p> <p>※2 異なる接種種類の接種間隔についてチェックを実施すること</p> <p>※3 チェックは予防接種実施規則および定期接種実施要領に基づいていること</p> <p>※4 間隔チェックが行えないような場合（前回接種歴等必要情報が欠損している、週りで結果を登録する等）についても、間隔不正の対象となること。</p> <p>入力時に接種間隔に対してエラーチェックができる。</p>	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.12.	0190412	<p>予防接種情報を登録時、対象年齢のチェックを行い、接種日時点年齢が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p> <p>入力時に接種間隔に対してエラーチェックができる。</p>	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.12.	0190413	<p>予防接種情報を登録時、対象年齢のチェックを行い、接種日時点年齢が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p> <p>※1 長期療養等、特例により期間を延長して接種を受けたものが考慮できること</p> <p>入力時に接種間隔に対してエラーチェックができる。</p>	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	-	0190538	予防接種情報を登録時、接種日時点で住民であるかチェックを行い、住民でなかった場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	-	0190539	予防接種情報を登録時、予診票の発行が行われているかチェックを行い、発行されていない場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができる。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「予診票」の定義については機能ID0190616を参照すること。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定 		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	-	0190540	予防接種情報を登録時、予防接種の種類・製造販売業者（ワクチンメーカー）・接種液の製造番号（Lot番号）の整合性が取れているかチェックを行い、不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができる。	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション搭載のうち、 搭載を希望する機能
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.13.	0190414	接種間隔や対象年齢が不正な状態で登録された予防接種情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
				各予防接種のエラー条件を設定することで、入力後に一括でエラーチェック（年齢、接種間隔、指定期間外）ができる。				
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	11.1.14.	0190415	予防接種情報を登録時、同一予防接種が接種済み（二重接種）かチェックを行い、既に接種済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。 ※1 他自治体での接種情報も含めてチェックができること ※2 生涯接種可能回数を踏まえた（二重接種が不可の範囲を）チェックとすること。たとえば、日本脳炎のように1回ずつ接種可能な複数の回数がある場合は、同一回数が接種済みかをチェックする。高齢者インフルエンザのように、生涯で同一回数を複数回接種可能な場合は、同一年度内の接種歴のみチェックとすること 入力時に二重接種に対してエラーチェックができる。	◎	・※1の他自治体での接種情報に関しては、情報照会や聞き取り等、把握できた場合に情報を登録しておくことで、チェックが行えることを想定している。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.接種情報管理機能	-	0190555	予防接種情報を登録時、接種対象が罹患済みかチェックを行い、既に罹患済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11.【予防接種】接種情報管理	11.2.接種結果一括参照機能	11.2.1.	0190416	接種種類ごとに、接種結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.2.接種結果一括参照機能	-	0190541	複数接種種類まとめて、接種結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.2.接種結果一括参照機能	11.2.2.	0190417	接種種類ごとに、未接種者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.2.接種結果一括参照機能	-	0190542	複数接種種類まとめて、未接種者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.2.接種結果一括参照機能	11.2.3.	0190418	接種情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.3.接種結果提供機能	11.3.1.	0190419	新型コロナワクチンの接種情報をについて、ワクチン接種記録システム登録用のファイル作成ができること。 ※1 IFはデジタル庁発出の事務連絡内、【別紙】データフォーマット「予診票一括登録」に規定	×		VRSIにおいて令和6年度以降の定期接種に係る登録機能が廃止されていること、また、新型コロナワクチンについても予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムでの管理対象となっていることから、機能を削除した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.4.健康被害救済制度	11.4.1.	0190420	健康被害救済制度について、申請から認定の状況を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「(別紙2-2) 管理項目_11.【予防接種】接種情報管理【健康被害救済制度情報】参照	○	予防接種法に健康被害救済制度に関する内容が明記されていることに加え、今後新型コロナワクチン接種による健康被害状況が不透明であることから情報の管理要件を標準オプション機能として記載している。		
11.【予防接種】接種情報管理	11.4.健康被害救済制度	11.4.2.	0190421	健康被害救済制度について、申請から認定の状況を一覧で確認できること（EUCができること）。	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	標準オプション搭載のうち、搭載を希望する機能
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	11.5.1.	0190422	接種履歴を証明する帳票（接種済証）を出力できること。 ■帳票詳細要件01■ 予防接種済証（定期） ■帳票詳細要件02■ 予防接種済証（臨時）	○	・機能ID0190422、機能ID0190621は予防接種法実行規則に定められている様式の出力機能である。任意様式の証明書類（例：母子手帳に代えられる子どもの履歴が一覧形式となっているもの等）の出力機能は、機能ID0190423となる。 ・機能ID0190422、機能ID0190621、機能ID0190423においては、予防接種法実行規則に基づき、当該地方自治体の事業として行った接種のみを出力（註明する）。（例えば、転入前の接種は対象外となる。）	新型コロナワクチン定期接種化に伴い、要件の考え方・理由から、臨時接種（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き）に基づく記載を削除した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	-	0190621	接種履歴を証明する帳票（接種済証）を出力できること。 ■帳票詳細要件03■ 予防接種済証（臨時・英語版）	○			
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	-	0190622	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、接種済証交付記録を予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに提供できること。 ※1 「IFID_SIF_H05_002 接種済証交付記録の連携（JSON）」「IFID_FIF_H05_004 接種済証交付記録の連携（CSV）」に準拠すること	○	・機能ID0190622についての、予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「[業務フロー] H_その他」ファイル21ページ H-1：接種済証の発行 2：予防接種済証の交付（書面） (2/2) 上記にて健康管理システムから予予・請求システムへ接種済証交付記録の登録要求タスクが想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムやマイナポータル上で、接種済証を発行する機能が検討されているが、自治体窓口での紙での発行も残る想定である。窓口で発行した場合に、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで発行情報を管理するための機能を新規追加した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	11.5.2.	0190423	個人の接種履歴を確認できる帳票（接種記録票）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○		<3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 利用意向のある自治体が利用できるよう実装必須から標準オプションに修正した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	11.5.2.	0190424	個人の接種履歴を確認できる帳票（接種記録票）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	地方自治体によって必要となる言語が異なることが想定されるため、定期接種実施要領で例示されている言語すべてに対応している必要はない。日本語以外に1言語以上対応できれば要件を満たしているとは言える。		
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	11.5.3.	0190425	予防接種台帳を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	11.5.4.	0190426	未接種者勧奨通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムでの勧奨が中心となるが、市町村にて紙で勧奨する際に、当機能を使用する想定である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化により、勧奨フローが変更となるため、補足を追記した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.5.帳票出力機能	11.5.5.	0190427	接種時期推奨表が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	接種時期推奨表とは、各予防接種を受ける標準的な接種時期等が一覧的に分かれるようないが想定される。具体的な様式・用途は任意である。		
11.【予防接種】接種情報管理	11.6.マスタ管理機能	11.6.1.	0190428	接種液に関する情報（接種種類、製造販売業者（ワクチンメーカー）、接種液の製造番号（Lot番号）等）をマスタ情報として管理（登録・更新・削除・照会）できること。	○			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第1.1版】」>3. 本仕様の内容>(1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分		要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (基育医療以外)			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.1.	0190431	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 <地域保健事業報告> ① 地域保健 ② 防止接種 ※1 集計母体は上記としつとも、標準範囲外と整理された事業に間違する集計項目は計上しない ※2 積計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人數）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	◎	×	×		
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	-	0190543	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 <地域保健事業報告> ① 母子保健（妊娠の届出） ② 母子保健（健診検査） ③ 母子保健（保健指導） ④ 母子保健（訪問指導） ⑤ 健保保健 ⑥ 健康増進（栄養・運動等指導） ※1 集計母体は上記としつとも、標準範囲外と整理された事業に間違する集計項目は計上しない ※2 積計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	◎	◎	×		
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.1.	0190432	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 <地域保健事業報告> ※1 国指定のExcel様式で出力できること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人數）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	○	○	×		
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.2.	0190433	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 <健康増進事業報告> ① 健康増進（健康増進事業等の対象者） ② 健康増進（健康相談） ③ 健康増進（健康相談） ④ 健康増進（健康増進法施行規則第4条の2に基づく健康診査） ⑤ 健康増進（歯周疾患検診・骨粗鬆症検診） ⑥ 健康増進（骨粗鬆症検診） ⑦ 健康増進（がん検診） ⑧ 健康増進（肝炎ウイルス検診） ※1 積計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人數）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	◎	×	×		
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.2.	0190434	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 <健康増進事業報告> ※1 国指定のExcel形式で出力できること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人數）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	○	×	×		
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.4.	0190436	各種統計資料（都道府県集計、市区町村独自集計、国庫負担金交付で必要となる算定等）をEUC機能を利用して作成できること。 ※1 積計値、または、集計が必要な一覧が出ること ※2 集計条件を保存でき、集計時に呼び出しで使用できること ※3 積計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること 抽出した対象者については複数年度のデータを一括で集計できる。 集計表は、別項別年齢別システム内でのコード化された全ての情報を使 用して任意で選択できる。 一度設定した集計の条件をシステム内にバーン登録できる。 登録された集計の条件を呼び出した後も、自由に条件を変更できる。 作成された集計表の出力を縦軸、横軸それぞれを基準にして%表示が できる。 対象者タ（血压、年齢など）の積算範囲は自由に設定できる。 集計結果を画面表示後、各セルの入力をクリックすると該当者が一覧 で表示される。 集計データはCSV形式又はExcelに変換できる。 システム内のコード化されたすべての数値項目で基礎統計を算出でき る。 基礎統計については、合計値・平均値・中央値・最大値・最小値・標準偏差ができる。 基礎統計は複数分布図をワンクリックで自動作成できる。 住所別、町会別、年齢別、保険別で人口集計処理ができる。 人口集計結果は画面表示、映像、PDF、CSVに出力できる。 平均年齢別集計結果は画面表示できる。 年齢別の集計結果を画面表示できる。 医療機関別の集計結果を画面表示できる。	◎	◎	◎		
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.5.	0190438	各がん検診、箇所疾患検診、骨粗鬆症検診において、がん検診の精度 管理指標に関する以下の集計値を出せること。 精検受検率 未精検受検率 精検未受検率 精検未把握率 要精検率 がん発見率 陽性反応の申度 ※1 積計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	○	×	×		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
12. 統計・報告	12.1. 集計・管理機能	12.1.6.	0190637	「成育医療等基本方針に基づく評価指標等に係る問診項目」の集計ができること。 ※1 集計ツール（乳幼児健診情報システム）にて利用できる形式でデータを出力。または集計値が出せること。 ※2 集計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	◎	◎	×		旧機能IDは0190439, 0190568である。	
12. 統計・報告	12.1. 集計・管理機能	12.1.7.	0190441	養育医療申請、給付実績について、福祉行政報告例の集計が出来ること <福祉行政報告例> 第22 来院児の養育医療及び結核児童の療育の給付 ※1 集計母体は上記としつつも、標準範囲外と整理された事業に関連する集計項目は計上しない。 ※2 集計根拠となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	○	×	◎			